



- ○全体の形は、福島大学の頭文字[F]を表している。 縦長の長方形は、大地(地域)にしっかりと根を下 ろしている様を、二つの躍動感あふれるフォルム は、軽やかで爽やかな風がキャンパスを吹き抜け る様を表している。
- ○下の葉は学生の新しい芽吹きを想起させる「若草色」上の葉は変化と広がりを感じさせる「青のグラデーション」
- ○二枚の葉は、伝統に根ざした発展と伝統を継承する「人文社会学群」と、新しく創設した「理工学群」を表している。
- ○全体として、文理融合による教育重視の人材育成 大学の発展への願いを託している。

【平成27年7月 発行】

福島大学総務課

〒960-1296 福島市金谷川1番地 TEL 024-548-5190 http://www.fukushima-u.ac.jp/

目 次

CONTENTS

学長メッセージ	Message from the President	1	収入	・支出	法 算	額	Closing Accounts : Revenue and Expenditure	22
新生福島大学宣言	Declaration of a New Fukushima University	2	科学证	开究費.	助成事	業	Grant-in-Aid for Scientific Research	23
中井プラン 2021	Nakai Plan 2021	3	外	部	資	金	Funds from Other Sources	23
福島大学ニュース	Fukushima University News	4	役	職	員	数	Number of Executives, Faculty and Staff	24
沿 革 略	Chronology	6	入学志	願者及	び入学	者	Number of Applicants and Enrolled Students	24
組織機構図	Organization Structure	8	学生0	つ定員	及び現	員	Number of Students	25
運営組織図	Governing Structure	8	卒業生	数及び	修了生	数	Number of Graduates	26
学群·学類·研究科·学系	Educational and Research Systems	9	卒 業	生 就	職状	況	Employment After Graduation	28
• 夜間主コース (現代教養コース)	Course of Liberal Arts for Modern Society	11	外国	人留	学 生	数	Number of International Students	30
・研 究 科	Graduate Schools	12	奨	学		生	Scholarship Students	30
・学系	Researchers Department	13	附属学	校の定	員及び現	溳	Off-Campus K-12 Schools	31
学 内 施 設 等	Campus Facilities	14	国際	交	充 会	館	International House	31
学 術 刊 行 物	Academic Publications	17	学	生		寮	Dormitories	32
サ テ ラ イ ト 等	Satellite etc.	18	大	学	会	館	University Hall	32
国 際 交 流	International Exchange	19	土地	・建	物面	積	Properties	33
歴 代 学 長	List of Former and Current Presidents	20	建物	勿 配	置	义	Campus Map	34
役 職 員	Administrators	20	部局等	の所在	地案内	図	Location of Offices	36
経営協議会委員	Management Council	21	部局等0	D所在地及	及び電話額	号	Contact Addresses	37
教育研究評議会評議員	Education and Research Council	21	裏表	紙う	ノンボ	ル、	マークおよびその由来	



「地域と共に歩む」 福島大学





東日本大震災と福島第一原発事故から4年が過ぎ、福島県の原発事故地域では国道や高速 道路の開通で南北を結ぶ基幹交通が復旧し、被災地域の復興を進める上での大きな前進があ りましたが、今なお福島県民11万人以上が県内外での避難生活を余儀なくされる状況が続い ています。

被災地にある福島大学は、発災直後の平成23年4月に、「うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)」を立ち上げ、被災者・被災地域の支援活動を行ってきました。仮設住宅等の被災者の生活支援、被災自治体の復興計画・コミュニティーの再生への参画、農地汚染マップの作成、農作物の試験栽培、風評被害対策等の取り組み、子ども・若者支援、被災地文化財のレスキュー活動等々、本学の専門性を生かした様々な支援活動を展開してきました。さらに、本学は長期にわたる放射能汚染の自然環境への影響を調査する機関として、平成25年度、新たに「環境放射能研究所(IER)」を設置し、国内外の研究者を招聘し、国際的な研究を推進しています。

また、平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)において、「原子力災害から地域再生をめざす『ふくしま未来学』の展開」(平成25年~29年度)が採択されました。「ふくしま未来学」は、復興の担い手たる若者の人材育成のための新たな教育プログラムで、平成26年度は共通教育科目を中心とするコア科目を、3年目を迎える今年度は専門教育としてのモデル選択科目を開講し、プログラムの拡充と体系化を進めていきます。

平成27年1月に、福島大学の将来ビジョン「中井プラン2021」を発表しました。それは、現在、策定中の第3期中期目標計画に盛り込むべき内容を意識し、第3期の終了後を見据えた震災・原発事故から10年にあたる2021年度までに、本学が目指すべき方向、本学ならではの具体的プランを示したものです。地域課題に創造的に取り組むことができる人材の育成を推進し(教育分野)、福島における研究拠点大学としての使命を果たし(研究分野)、福島創生の中核的な知の拠点として貢献する(社会貢献)ための、個別具体的施策です。

福島大学は、国立大学法人化と同時に理工系学域を創設し、従来の人文系大学から、文理融合的な総合大学に発展してきました。グローバルな視野とセンス(感性)をもち、地域の諸課題を解決できる人材育成をめざす、「地域と共に歩む」福島大学をご支援いただけますよう、宜しくお願いいたします。









福島大学は国立大学法人として、2学群4学類12学系の新制度として新たに出発しました。2005年4月、この新生福 島大学に新入生を迎えるにあたり,福島大学の理念,教育,研究,社会貢献・地域貢献,大学運営の基本原則を宣言します。

福島大学の 理念

(1) 自由・自治・自立の精神の尊重

福島大学は、自由、自治、自立の精神に基づき、大学の自律的運営が保障される高等教育機関 として、その使命を果たします。

(2) 教育重視の人材育成大学

時代と社会のニーズに応える人材育成大学として社会に貢献する専門的職業人の育成をめざし、 教育重視の大学として発展させていくとともに、市民に愛される大学として地域社会に密着する 大学づくりを進めます。

(3) 文理融合の教育・研究の推進

人文科学、社会科学、自然科学の専門領域の旧来の枠組みのみにとらわれない文理融合の教育・ 研究を、柔軟な構造の下で推進します。

(4) グローバルに考え地域とともに歩む

海外姉妹校と教育・研究交流協定を締結し、海外留学制度の充実・外国人留学生の受け入れと 交流を進め、国際的視野を深める教育の充実に努めます。社会人を積極的に受け入れ、地域にお ける学習機会を拡大し、地域社会における諸問題に関する教育・研究の発展に寄与します。

教育一 知の継承・ 人材育成

- (1) 自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間、社会に貢献し社 会から評価される学生を育成するために、本学の少人数教育の伝統をさらに発展させ、きめ細か な教育を実践します。
- (2) 文理融合の教育を推進し、キャリア形成教育及び就職支援指導を充実させ、広い視野と豊か な創造力を有する専門的職業人を育成します。

研究 -知の創造

(1) 真理の探究に関わる基礎研究から科学技術と結合する目的型研究に至る卓越した知の創造に 努め、新たな学術分野の開拓と技術移転や新産業の創出等、研究成果を積極的に社会に還元します。 (2) 人文、社会、自然科学の学問領域や、基礎と応用などの研究の性格の差異にかかわらず、構 成員が学問の自由と自主的・自律的な協力・共同をもって研究を進める環境を整備します。また萌 芽的研究や若手研究者の育成に努め、常に新しさに挑戦し個性を引き出す研究体制を構築します。

社会貢献・ 地域貢献 -知の還元

- (1) 大学が有する知的資源を積極的に地域社会に還元し、学術文化の継承発展とともに、教育・ 健康・福祉等生活基盤の整備充実に貢献します。そして東北・北関東の知の拠点として、世界に 向けて発信していきます。
- (2) 地域に存在感ある大学づくりを進めるため、地域社会への貢献にとどまらず、日本・世界へ の貢献にまで視野を広げ、さらに産官民学連携の活動を効果的に推進し、わが国の産業・経済・ 社会・教育・文化の持続的な発展に総合的に貢献します。

大学運営

- (1) 大学の目標を達成するために、学生・院生、大学教職員、附属学校園教職員等全ての構成員が、 男女共同参画の理念を踏まえ、それぞれの立場で大学の諸活動へ参画することを保障し、大学の 民主的運営をめざします。全ての構成員は、相互に尊重し、大学の自治を発展させます。
- (2) 大学運営において、高い透明性をもたせ、全構成員及び社会の信頼が得られるように十分な 説明責任を果たします。

中井プラン 2021

~「地域と共に歩む人材育成大学」の発展をめざして~

地域と共に歩む人材育成大学

福島大学は、創立以来、福島の地において、教育、産業、行政 など広く各界へ専門的人材を輩出し,自由・自治・自立の精神に 基づき、文理融合の教育・研究を推進することにより、地域に存 在感と信頼感ある高等教育機関としてその使命を果たしています。

福島大学は、震災・原発事故からの学びを活かし、「新たな地域 社会の創造」に貢献できる"地域と共に歩む人材育成大学"として使 命を果たすとともに、「21世紀的課題」が加速された福島における 中核的学術拠点として,一層の発展をめざします。

教

地域課題に創造的に取り組むことのできる人材の育成を推進します。

教育改革推進のための組織整備

●教養教育,専門教育,教職教育等,本学が取り組んでいる教育 活動を全般的に点検し、教育改革を推進するための組織を整え ます。

[21世紀的課題]に対応する教育プログラムの整備

- ●[ふくしま未来学]を本学にしかできない特修プログラムとして 発展させ、復興を担える新たな人材育成機能を充実させます。
- ●グローバル人材育成に対応した教育プログラムを構築し、社会 のグローバル化に応える教育活動を推進します。
- ●福島県の学校教育の実情に即した教員養成機能の高度化を図り
- ●震災後の食と農業に係る安全への問題に対応できる人材養成を 推進します。
- ●理工系人材育成機能の強化を図るとともに、再生可能エネルギー 分野の人材育成を推進します。
- ●環境放射能研究所の研究実績をもとに,人材育成の新たな機能 を作ります。

基盤教育の充実と質保証の検証

- ●アクティブラーニングを採り入れ、人材育成をさらに強化します。
- ●共通(教養)教育を充実させるとともに、学生の意欲に応える専 門教育を追求します。
- ●夜間主コースの役割を明確化し、制度の見直し、運営体制の整 備を行います。

学生の学習環境の整備と経済的支援

- ●老朽化した施設,設備を計画的にリニューアルします。
- ●学生の自学習スペースを整備します。
- ●学生生活への支援を充実させるため、「学生教育支援基金」を継 続的に発展させます。

研

福島における研究拠点大学として使命を果たします。

「21世紀的課題」が加速された福島での課題への 積極的な取り組み

●少子・高齢化の進展、コミュニティ崩壊、エネルギー問題など、 震災・原発事故後に福島において加速化されたこれらの課題は 日本全体の課題でもあり、本学は積極的に関わるとともに、研 究成果を発信します。

環境放射能研究所による国際的な環境放射能動態研究の推進

●海外研究者を積極的に招聘するなど、環境放射能研究所の体制・ 機能を強化し、環境放射能分野における国際的先端研究拠点とし て整備を進めます。また、環境放射能研究所の共同研究拠点化を めざし、その成果を地域に還元するとともに世界に発信します。

イノバティブ・ラーニングラボラトリ(ILLab)による 「未来創造型教育」の構築

●イノバティブ・ラーニングラボラトリにおいて、○ECD東北 スクール活動により得られた経験・知見を、新たな人材育成プ ログラムの開発研究へと発展させます。

社会貢献

福島創生の中核的な知の拠点として貢献します。

地域の中核的な知の拠点

●福島県及び地域社会が抱える課題の解決に貢献する活動を積極 的に行い、社会の活性化及びイノベーションに基づく産業の成 長に貢献します。

うつくしまふくしま未来支援センターの発展的改組

●中長期的な視点にたち、うつくしまふくしま未来支援センター (FURE)を改編し、復興や振興に資する組織として一層発展 させ、地域に寄り添う支援活動を継続します。

福島県・国等との密接な連携による復興への貢献

●福島県復興計画や国によるイノベーションコースト構想などを 踏まえた活動に積極的に関わり、福島創生の一翼を担います。

教育研究組織の整備

社会ニーズに合致した教育研究組織を整備・充実します。

農学系人材養成組織の創設

●震災後、食と農業に係る安全への問題から、福島県における農 学系の専門的人材養成の必要性を望む声が高まっており, 本学 として担うべき役割を見極め、第3期の早い時期に農学系人材養 成組織を創設することをめざします。

教職大学院の設置

●福島県における学校教員の資質・能力の総合的な向上をめざし、 福島県にふさわしい教職大学院を第3期の早い時期に設置するこ とをめざします。

大学院既存研究科の再編

●農学系人材養成及び教職大学院設置を実現する中で、地域ニー ズを踏まえた研究科の再編をします。入学定員の増減、現専攻 の改廃、新専攻の設置も視野に入れて早期に必要な再編を行い ます。

管理運営

「オール福島大学」で大学改革を実行します。

- ●全教職員が情報を共有し、一人一人が役割を自覚し、やりがい を感じ、活躍できる職場環境をつくります。
- ●本学の業務に関する客観的データの収集と分析を図り、恒常的 な大学改革を推進するために「IR室」を設置します。
- ●理事・副学長体制, 選考方法の整備などにより, 責任と権限を 明確にし、効率的な管理運営体制を整えます。
- ●「オール福島大学」をモットーに、教員人事管理を全学一元化し、 柔軟で機動的な教員所属組織へ変えます。
- ●新たな人件費管理の手法の導入による学長裁量経費等の確保に より、戦略的な資源配分ができる環境にします。
- ●総合的な財務戦略機能を高め、社会のニーズと変化に柔軟に対 応できる財務構造にします。
- ●福島大学創立70周年(2019年)の記念事業に取り組みます。



OECD 東北スクール



OECD東北スクール「東北復幸祭〈環WA〉in PARIS」を開催



巨大ドミノ倒しで現れるチームロゴ



平成26年8月30日から31日にかけて、パリのエッフェル塔前に広がるシャン・ド・マ ルス公園でOECD東北スクール「東北復幸祭〈環WA〉in PARIS」を開催しました。

このイベントは福島大学が主催となり、東日本大震災からの復興の担い手を育てる2年 半にわたるOECD東北スクールプロジェクトの最終ゴールに位置づけられており, OECDをはじめ、文部科学省、国内の多くの企業やNPO、自治体の協力を得て開催に至 りました。

開催初日は、福島大学の中井勝己学長の挨拶、同氏の進行によりパリ市マルタン副市長、 OECD玉木林太郎事務次長,OECD日本政府代表部兒玉和夫大使,文部科学省山中伸一 事務次官からの挨拶をいただき、その後の司会進行をOECD東北スクールの生徒達が務 めています。

イベントでは、巨大ドミノ倒しが行われました。その倒れる様子を津波に見立て、1度 目は津波による恐怖や悲しみを表現し、ピースの立て直し作業で復興を表現、2度目は明 るいイメージを表現するためチームロゴが現れるというように、震災から復興までの一 連の流れを表現しました。ピースを立て直す際、年齢・性別・人種・国籍に関係なく生 徒達と観客が一体となって作業する様子は、これまでの活動や震災からの復興を体現し ているかのようでした。

また、日本で活躍するシンガーソングライター miwaさんも参加し、生徒達とともに 制作したイベントテーマソング『希望の環』を合唱しました。パリの青空の下、生徒達は 手を繋ぎながら、泣きながら、震災からこれまでを振り返りながら、テーマソングを歌 いました。曲が終わり、多くの観客から拍手が送られた場面は、とても感動的でした。

2日間でのべ15万人が会場を訪れ、エンディングではステージの周りに集う数百人の 人々が肩を組み巨大な一つの「環」となってすべてのイベントを閉幕しました。

福島の今を伝えるシンポジウム「ほんとの空が戻る日まで」

平成27年3月8日, うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)は、立命館大学朱雀キャ ンパスにおいて、シンポジウム「ほんとの空が戻る日まで ―東日本大震災及び原発事故から の福島の闘い一」(共催 立命館大学, 国立大学法人大阪大学 後援 文部科学省, 復興庁, 福島県他)を開催しました。

本シンポジウムは、福島と歴史の繋がりの強い京都で、福島の現状を伝え、複合災害で苦 しむ福島を今一度考えていただく契機とし、福島の経験を伝えることにより防災の意識を高 めていただきたいと願い企画されたものです。

基調講演には、堀 潤氏(ジャーナリスト)を迎え、自ら福島に通い続けて取材をした経験を もとにお話しいただき、パネルディスカッションでは、開沼博FURE特任研究員がコーディネー ターとなり,遠藤勝裕氏(日本学生支援機構理事長),高橋美奈子氏(福島市飯坂温泉松島屋旅 館女将), サトウタツヤ立命館大学文学部教授, 久保壽彦立命館大学経済学部教授, 佐藤彰彦 福島大学FURE特任准教授らが福島の当面の課題や解決策について報告を行い、その後一般参 加者も交えた活発な意見交換が行われました。







環境放射能研究所分析棟開所式を開催

平成26年12月3日,環境放射能研究所分析棟が開所しました。環境放射能研究所 は、東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け、平成25年7月に設置された組織 で,その目的は国内外の研究機関と連携し,温帯多湿地域における環境への放射性 物質による長期的な影響の調査・研究を行い、環境放射能の動態を解明することに あります。今回は、研究所本棟に先駆けて、分析棟が竣工したことになります。

分析棟では、放射性物質で汚染された森林、河川、湖沼、海洋等の環境における 放射性核種ごとにデータ解析するという基礎的並びに応用的研究を行います。本研 究所は,これらの研究と合わせて,計測機器の開発や予測科学,アーカイブ学を含め, 世界に開かれ英知を結集した環境放射能動態研究の先端研究拠点となることをめざ

開所式当日は,正面玄関前にて中井勝己学長,千葉悦子副学長,高橋隆行教授, 塚田祥文教授がテープカットしました。その後,高瀬つぎ子特任准教授が招待者・ 報道関係者らに研究所内部を案内しました。







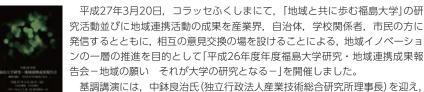


放射性物質による影響調査・研究

平成26年度福島大学研究・地域連携成果報告会-地域の願い それが大学の研究となる-



中井勝己学長による主催者挨拶



基調講演には、中鉢良治氏(独立行政法人産業技術総合研究所理事長)を迎え、 「我が国、特に福島県における地域イノベーションの推進に期待するもの」と題

しご講演いただきました。さらに、奥本英樹経済経営学類教授、高貝慶隆共生システム理工学類 准教授,阿部浩一行政政策学類教授,川本和久人間発達文化学類教授,吉田樹経済経営学類准教授, 高橋隆行共生システム理工学類教授の6名の教員による福島大学の研究活動並びに地域連携活動 の成果報告が行われました。

160名を超える参加者で会場は満席となり、報告会並びに教員への高い評価と次回への期待や 希望の声が大変多く聞かれ、盛会のうちに終えることができました。

ふくしま未来学(COC事業)地域実践学習「むらの大学」スタート



福島大学では、平成25年度文部科学省の「知(地)の拠点事業」に採択され、「原子力災害から の地域再生をめざすふくしま未来学の展開」と題し、ふくしまの地域再生をめざす実践的教育 を双葉8町村など12自治体と連携し、未来のふくしまを担う人材の育成をしています。教育・ 研究・社会貢献の柱のうち、特に教育面を中心に、原子力災害によって引き起こされた地域課題、

少子高齢化や過疎など元々地域社会が抱えていた課題を実践的に学習する科目群を配置した特修プログラムです。 昨年度からスタートした地域実践学習「むらの大学」では、夏休み2週間のフィールドワークをメインとし、南 相馬市や川内村をフィールドにし学生が実際に地域に泊まり込み、地域の住民への聞き取りや、地域課題を解決 するプランニングを行い,住民と共に学びあう場の創出を行っています。学生からは「将来は福島県の復興に関 する仕事がしたいと強く思うようになった。この実習は私の将来に大きな影響を与えた」「自分たちが知ったこと、 学んだことは,まだ表面のものでしかないと思うので,これから継続して関わる中で,さらにそのことについて 深めていきたい」との感想があり、地域課題を実際に学びながら、継続的に地域に関わり主体的な学習者として 成長する姿が見られました。

今後は、さらに全学的に地域に関わる機会を増やし、学生・教職員共に福島の復興・地域再生に寄与できる機 会を提供していきます。





地域実践学習における交流





ベラルーシ大学生との交流

大学院「ふくしま未来食・農教育プログラム」 1 期生が修了

平成27年3月に、「ふくしま未来食・農教育プログラム」立ち上げと同時に入学した第1期の大 学院生の中から、記念すべき初の修了者4名が出ました。修了したのは、農業団体の職員や、農 と食文化と美術のコーディネーターなどを仕事としてもつ社会人大学院生たちです。4名が提出 した「特定課題演習」のテーマは、「原子力災害から農村地域の再生に取り組む住民組織の発達過程 に関する研究」、「農業用ため池を対象とした動力自給・遠隔型モニタリングシステムの提案」、「モ モ産地再編期における園地流動化に向けた園地情報の活用方策」,「消費社会を周辺化する実践者 たち一福島県喜多方市山都町から会津地域に広がる農的暮らしの展開の考察」と、まさに今後の福 島の食と農と地域の再生に深くかかわるもので,どれも各自の今後のライフワークをかいま見せ てくれる意欲作です。修了した社会人たちも、それぞれの現場で活躍しながら、ときおり大学院 の様子を覗きにきてくれています。本プログラムが構想していたような、復興を担う人材の育成 とネットワークの形成という目標に向け、確かな手応えが生まれてきています。

Chronology

福島師範 学校講習所

明治 7.9

Fukushima

福島師範 伝習校

明治 9.1

Fukushima Normal School Teachers Training School 明治 10.2 福島第一号

師範学校

福島第二号

師範学校

福島第三号

師範学校

Fukushima 1 st Normal School

Normal School

Fukushima 2 nd

Fukushima Normal School 明治 11.3 福島師範

Fukushima

学校

Normal School

明治 19.8

福島尋常 師範学校

Fukushima Ordinary Normal School 明治 20.3

福島県尋常 師範学校

Fukushima Prefectural Ordinary Normal School 明治 31.4

福島県 師範学校

Fukushima Prefectural Normal School

大正 12.4

福島県女子 師範学校

Fukushima Prefectural Women's Normal School

大正 10.12

昭和 19.4

福島高等 商業学校

Fukushima Higher Commercial 専門学校

福島経済

昭和 18.4

福島師範

学校

Normal School

Fukushima

School

Fukushima College of **Economics**

Fukushima

University

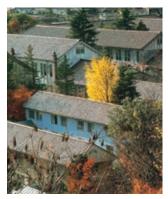
昭和 24.5

設置 平成16.4設立

国立大学法人



旧浜田町キャンパス



旧森合キャンパス

大正 9.10

福島県立 実業補習 学校教員 養成所

Fukushima Prefectural **Training Center** for Supplementary Vocational School Teachers

昭和 10.4

福島県立 青年学校 教員養成所

Fukushima Prefectural Young Men's Training Center for School Teachers

昭和 19.4

福島青年 師範学校

Fukushima Young Men's Normal School for School Teachers

1949(昭和24)年5月31日, 法律第150号国立学校設置法により, 福島師範学校・福 島青年師範学校・福島経済専門学校の3校を包括して、学芸学部と経済学部の2学部を 持つ福島大学が設置されました。

国立新制大学の入学者選抜は、第1期・第2期に分けて行われ、福島大学は第2期に 行われました。選抜の結果、学芸学部293名(4年課程101名、2年課程192名)、経済学 部は161名の合計454名の入学が許可されました。

学芸学部には学芸部と教育部が置かれ、学芸部の中には人文科学科、社会科学科、自 然科学科が、教育部の中には教育学科、教育心理学科、各科教育学科が置かれました。 研究・教育の組織として全31講座が設けられました。

また経済学部には14講座が設けられました。

学芸学部は市内浜田町に、また経済学部は市内森合の2つのキャンパスに分散してい たため、昭和54年に金谷川の地に統合移転しました。

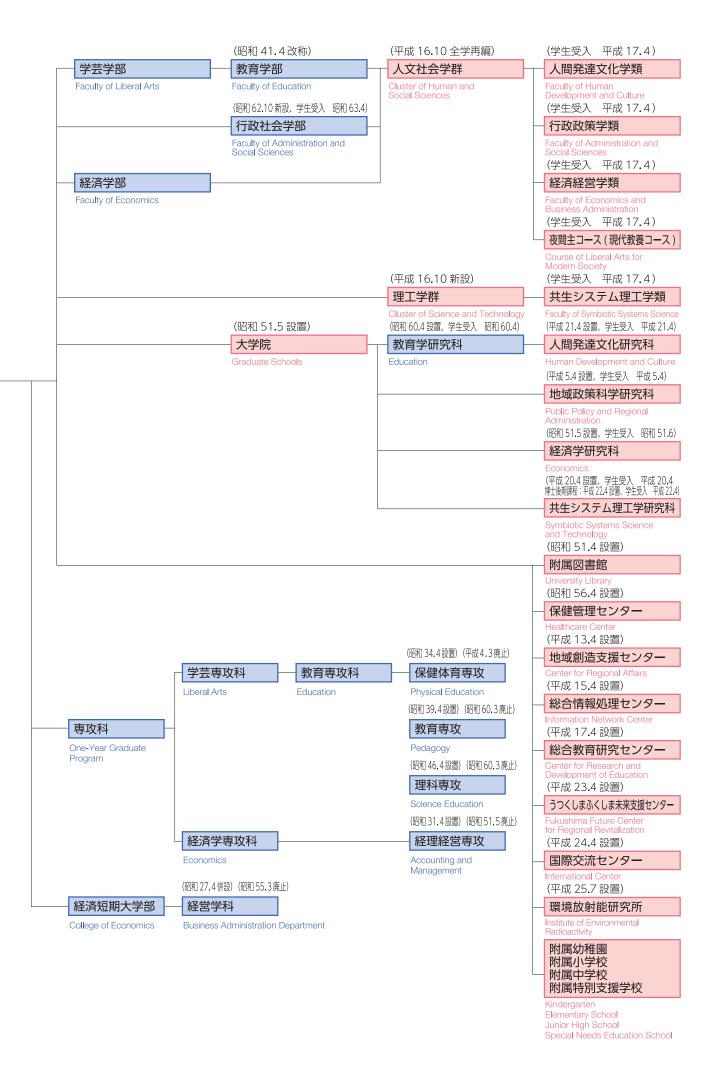
昭和62年10月に行政社会学部を増設し、平成16年10月、国立大学法人化のなかで理 工学群共生システム理工学類を創設し、新たな出発をしています。

旧3学部を継承した3学類を人文社会学群としてくくり、理工学群とともに2学群4 学類の教育組織を実現するとともに、全教員が参加する研究組織として12の学系を構築 しました。また、人文社会学群には、伝統ある社会人教育を継承して、夜間主コース(「現 代教養コース」)を有しています。大学院についても既存3研究科とともに、平成20年4 月には大学院共生システム理工学研究科を発足させ、充実した教育・研究を推進してい ます。



移転当時の金谷川キャンパス





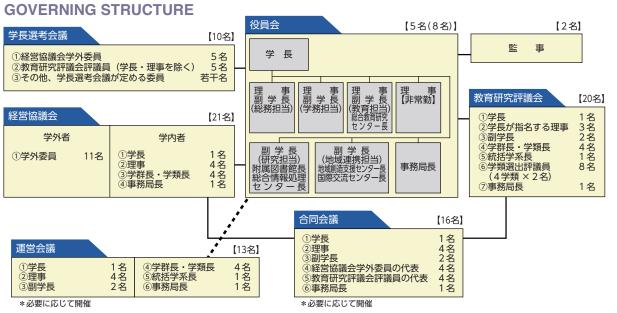
組織機構図

ORGANIZATION STRUCTURE





運営組織図



学群・学類・研究科・学系

EDUCATIONAL AND RESEARCH SYSTEMS

学群・学類(教育組織 Educational Systems)

福島大学では、平成16年10月より教育組織と研究組織を分離した「学群・学類・学系制」を導入した。これまでの 教育,行政社会,経済の3学部を人文社会学群と理工学群に再編し,人文社会学群に人間発達文化,行政政策,経済 経営の3学類、理工学群に共生システム理工学類を設置し、17年4月から学生受入を開始した。また、人文社会学群 には夜間主コース(現代教養コース)を設置している。

人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences

人間発達文化学類

Faculty of Human Development and Culture

■学類の紹介

人間の教育・発達とそれを支える文化の探究・創造に関心を持ち、直面する人間の教育・発達支援をめぐ る現代的課題に積極的に貢献しようとする人材の育成を目的とする。学類はそうした多角的視点から人間の 教育・発達支援に取り組む広義の教育者を養成するため、3専攻を置き教育を行う。すなわち、人間の教育・ 発達を深く理解し,その自立をサポートする教育的実践力と態度を育てる<人間発達専攻>,人間の教育・ 発達の基盤となる地域教育・文化に対する幅広い知識と現代的課題に挑む間題意識や探究力の形成をめざす <文化探究専攻>,人間の身体や感性の可能性を追求し、スポーツ・芸術を通して地域教育・文化を創造し 人間発達の支援に貢献する<スポーツ・芸術創造専攻>である。

本学類では、学校教員を初めとし、社会の各分野で新時代をリードする教育関係者、人間発達の支援者を 養成する。教員免許状は,長い伝統と実績を誇る旧教育学部時代とほぼ同様に,小学校・中学校・高等学校・ 幼稚園・特別支援学校教員免許状等を取得することができる。

■活動紹介 福島の教育的課題に取り組む

昨年度から「学校教育支援実習」を新たな実践実習科目として設定した。これは、学校ボランティア活動を

もとに学校での教育活動を支援 しながら子どもたちへの理解を 深め、現場の課題に取り組んで いくものである。また、放射線 と健康に関する基礎的知識や復 興教育に携わる際の実践的知識 と心構えなどを学ぶ[復興教育 学」も昨年度から開講した。本 学類では、このような学びや実 践を通して福島の教育的課題に 取り組んでいける力量の向上を 図り、福島の次世代を育てる学 校教員の養成に努めている。

学類生は大学での様々な学び をもとに, 双葉郡の新たな教育 を創造する取り組みにも積極的 に関わって活躍している。



学校ボランティア活動

行政政策学類

Faculty of Administration and Social Sciences

■学類の紹介

行政政策学類は、現代社会の課題を学際的な観点に立って教育研究し、地域や社会のニーズに応えることので きる人材を養成することを目的としている。法学,政治学・行政学,社会学,歴史学,文化研究,国際関係など学

問分野の枠を超えて相互に関連させながら、学びを探求することが特色である。 2年生からは、(1)法学の体系履修を通じて、多様な社会現象に対処できる能力育成をする「法学専攻」、(2)地域の現状把握をしながら、政治・行政を受び、政策や計画を活かしながら新しい地域づくりを実現する「地域と行 政専攻」、(3)社会や文化が直面する諸課題に、歴史的かつグローバルな視点から考える「社会と文化専攻」の3専

攻により教育研究を深める。本学 類では、少人数教育や実践学習で ある「実習・課題研究」等,学生が 能動的に参加するアクティブ・ ラーニングを導入した教育も特色 である。

■活動紹介

アサヒ産学連携事業

平成26年には、佐々木ゼミ(情 報社会論)が制作した映像作品が 「NHKミニミニ映像大賞」のファイ ナリストに選出された。また、本 学類とアサヒグループの産学連携 事業「集まれ! ふくしま子ども大 使」では、被災した子どもと全国 の子どもの交友づくりを目的とし て,福島大学災害ボランティアセ ンター学生と共に企画運営し,参 加者からは好評であった。今年度 も夏休みに開催予定である。



福島の子どもたちと全国の子どもたちと

Faculty of Economics and Business Administration

■学類の紹介

旧制福島高等商業学校以来、約90年の歴史と伝統を有し、約2万人の卒業生を輩出している。カリキュラムでは、 2年生前期までに経済経営の基礎知識を習得することを目標に、リテラシー科目を設定している。また、調査や実 習などでの実践を重視し,少人数教育の姿勢を打ち出している。外国語教育も充実しており,2015年よりグロー バル人材育成プログラムをスタートさせた。

2年生後期からは専攻と演習に所属する。3専攻は以下のとおり。(1)経済分析のための理論と分析手法を身に つける「経済分析専攻」, (2)地域経済・地域社会の諸問題を学ぶく地域経済政策コース>と, 現代世界の共通性と

多様性を学ぶ<国際比較経済コー ス>からなる「国際地域経済専攻」, (3)組織のマネジメント方法を実 践的に身につける<ビジネス・マ ネジメントコース>と, 主に会計 学を学ぶ<ビジネス・アカウン ティングコース>からなる「企業経 営専攻」である。

■活動紹介

産学連携による地域課題への取組

平成20年3月より、福島大学と 東邦銀行が産学連携の一環で「地 域戦略研究会(旧:会計戦略研究 会)]を立ち上げ、定期的に社会人 と学生が勉強会を開催している。 本フォーラムは1年間の成果を総 括講演として開催しており、平成 26年度は「ICT社会の現状と未来」 と題して,外部で一般市民を対象 に,伊藤宏ゼミ生を中心とした学 類生と東邦銀行の方々が講演を 行った。



地域戦略研究会風景

夜間主コース(現代教養コース)

Course of Liberal Arts for Modern Society

福島大学における社会人教育の実績と成果を踏まえて、社会人の新たな学習ニーズに対応するため、福島 大学では、平成16年10月の全学再編を機に人文社会学群の夜間主コースとして「現代教養コース」が設置さ れた。コースの中には、人間発達文化学類に対応する「文化教養モデル」、行政政策学類に対応する「法政策

モデル」「コミュニティ共生モデ ル」,経済経営学類に対応する「ビ ジネス探究モデル」の、4つの履 修モデルがある。学生は, 一年次 には3学類の教員が担当する「教 養演習」を受講し、さらに二年次 には、4モデルに対応する「基礎 演習」を履修しつつ、いずれかの モデルに所属して学習する。履修 基準は、緩やかに設定されており、 昼間開講科目の履修ができるなど. 多様な学びを支援する体制を整え ている。



理工学群 Cluster of Science and Technology

共生システム理工学類

Faculty of Symbiotic Systems Science

■学類の紹介

共生システム理工学類は、21世紀の課題を解決し、私たちが安心・安全に生活するために、これまでの学問体 系にはない理学-工学-人文社会科学を融合した「共生の科学・技術」の構築を目指している。 既存の学問域を融 合したシステム思考のもとに「人と環境の共生」・「人と産業の共生」・「産業と環境の共生」の3領域で教育研究を展 開する。

「人間支援システム専攻」では、人理解にもとづく、人支援の科学を発展させる。「産業システム工学専攻」では、 人や環境との共生に配慮した,持続可能な循環型産業システム科学を発展させる。「環境システムマネジメント専攻」 では,自然資源の保全・浄化・管理計画の科学を発展させる。また,本学類に対応した共生システム理工学研究

科(博士課程)を設置し, 高度専門 職業人・研究者の育成を目指して いる。

■活動紹介

福島大学発ベンチャー企業 「ミューラボ」

共生システム理工学類設立10 年を迎えた今年、高橋隆行研究室 の研究員と教授が中心となり、福 島大学認定第一号のベンチャー企 業「ミューラボ」を設立した。 ミューラボは研究室で特許を取っ た技術「立体カム機構」及び「クラ ウン減速機構」を利用し、小型で 滑らかな動作を実現できるロボッ ト部品を製造・販売する。活用用 途は内視鏡などの医療機器や機 械メーカーの生産ライン, 原発廃 炉作業への活用など多岐にわたる。



「クラウン減速機構」による評価風景

研

人間発達文化研究科 Graduate School of Human Development and Culture

人間発達文化研究科は、多様な現代的教育課題に対応するため、今日、必要とされる高度な知識・技術を持っ て人材育成を促進させる<人材育成のエキスパート>を養成していくことを目的とする。同研究科は3専攻・9 領域から構成されている。具体的には、教職教育専攻では学校教育領域、カリキュラム開発領域が置かれ、いわ ゆる教職大学院の機能をも視野に入れ、地域に開かれた学校において多様なリソースを活用できる<エキスパー ト教員>を養成する。次に、地域文化創造専攻には、日英言語文化領域、地域生活文化領域、数理科学領域、スポー ツ健康科学領域,芸術文化領域が置かれる。同専攻では、修士レベルの文化的専門性を基盤に地域社会の多様な 諸課題を解決するために必要な学際的コーディネート力を獲得し、さらにその力を次世代の創出に不可欠な人材 育成力へと連動させる<地域支援エキスパート>を養成する。そして,学校臨床心理専攻には,臨床心理領域, 学校福祉臨床領域が置かれ、自立支援・発達支援・社会支援の専門的知識とスキルを持つ<発達支援エキスパー ト>を養成する。いずれの専攻も学類からの進学者の教育とともに、県教育委員会の協力のもと現職教員研修の 場としても機能し地域社会に貢献する。とくに,学校臨床心理専攻では昼夜開講制をとり,社会人を含め多くの 学生が研究を進めている。

地域政策科学研究科 Graduate School of Public Policy and Regional Administration

地域政策科学研究科は行政社会学部を基礎として、1993(平成5)年4月に開設。地域政策科学専攻の中に有 機的科目群からなる 5 履修分野(地方行政,社会経済法,行政基礎法,社会計画,地域文化)を設け,行政政策学 類の教育・研究の学際性を継承して,個別の学問分野では捉えきれない地域社会の諸問題に多角的な視点でアプ ローチし、様々な問題の解決方法を探究することを目的とする。

地域の社会的要請に対応しうる高度でユニークな大学院教育の達成を期するため、社会人特別選抜・社会人特 別推薦選抜や昼夜開講制の導入、さらに、長期履修制度、一年修了型カリキュラム等、社会人の再教育、生涯教 育を大学院にまで広げ、地域社会が求める総合的な政策の展開を図れる人材を育成する。

2012(平成24)年度からは現代的課題について体系的に研究するための「政策課題プログラム(権利擁護・災害 復興・文化資源)」を開講し,災害復興・地域再生については「地域特別研究」などの授業科目において,地域行政 や政策立案に関して現地調査等を実施し、地域社会が直面する課題の解決方法を具体的に研究する。

経済学研究科 **Graduate School of Economics**

経済学研究科は経済学・経営学の専門知識の習得と研究能力の養成を目指している。経済学専攻・経営学専攻 の2専攻・4コースから成る。

2013年度から「地域産業復興プログラム」「会計税務プログラム」を新たに開始した。前者は放射能災害からの 農業復興を主題としたもので「ふくしま未来食・農」プログラムとして文科省より支援を受け世界的にも前例のな いカリキュラムとなっている。後者はより長期的な人材育成を目標として東北税理士会など地元の支援を受けつ つ地域経済復興に寄与することを目指している。

また2015年度からは新たに「ビジネスキャリア・プログラム」を開始した。これは、実践性のある高次のビジ ネスリテラシーを土曜日曜の開講科目だけで修得可能とするプログラムである。同時に,修士論文を必修の修了 要件とはしないより実践的な履修モデルを設定した。この履修モデルは社会人がレポート作成や調査などの実習 を積み重ね、職業経験・実務経験などと関連した研究レポートを作成して修了する特徴をもち「実務家・特定課題 研究」モデルと呼ぶ。修士論文を執筆するモデルと並んでおり、適性に応じてどちらかの履修モデルを選択できる。 そのほか、社会人のニーズに応え、郡山教室の開講や、昼夜開講体制、長期履修制度も整備し、ビジネス・経済 分野の最前線で活躍されている外部講師による講義科目の充実も図っている。

共生システム理工学研究科 Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology

共生システム理工学研究科は、人・産業・環境の共生を新たな枠組みの学問体系で捉えるシステム科学を基盤 とし、21世紀の複雑な課題の解決に実践的に貢献できる高度専門職業人・研究者を育成することを目標に掲げて、 2008年(平成20年)4月に、共生システム理工学専攻の中に5分野(人間・機械システム、産業システム、環境シ ステム, 数理・情報科学, 物質科学)を設けて開設し, 2012(平成24)年度には, 国立研究開発法人産業技術総合 研究所と連携し、再生可能エネルギーの開発やエネルギー資源の需要・供給解析に関する科目群「再生可能エネル ギー」分野を開設している。

2010(平成22)年4月から、博士後期課程を開設し、3領域(共生機械システム、産業共生システム、環境共生 システム)を設けて、それぞれの分野・領域の連携や実務家等を入れた研究プロジェクトの実施を通じて、新たな 課題の解決に対応できる実践的な人材を育成する教育研究体制を採用している。

学 系 Researchers Department (研究組織 Research System)

新制度設計のもとに教育組織は学類として、研究組織は学系として位置付けられた。現在、13の学系が存在し、各 教員は自己の専門領域に応じていずれかの学系に所属し、研究活動に従事している。各教員は学系を基盤に日々研究 交流を行っている。そして今日、大震災・原発事故後の地域社会の多様なニーズに応えることを重要課題として意識 し、学系プロジェクトや多様なプロジェクトを通して自治体の再生や支援、農林漁業や製造業の復興・再生、学校・ 教育支援などに関わっている。

人間・生活学系 Human Sciences

人間の存在、生活及びその発達について多角的・ 総合的に理解するために、倫理学的・教育的・福祉 的及び生活科学的観点から考察し、諸問題の有効な 解決策を模索する。

心理学系 Psychology

人間の発達、行動、及び心理・精神的問題につい て研究を進め、専門的知識を深めるとともに、研究 成果を社会に還元する方策を探る。

文学・芸術学系 Arts and Literature

文学・美術・音楽の近・現代化の研究、東アジア の文化と教育の比較論的研究、まちづくりと芸術プ ロジェクトとの連携の研究などを進め、地域還元を する。

健康·運動学系 Health and Sports Sciences

現代を生きる全ての人間に必要不可欠な「身体リテ ラシー」に関して、スタッフの多様な専門性を生かし、 研究と教育に取り組んでいる。

外国語・外国文化学系 Foreign Languages and Cultures

各国の言語・文化等について共同研究を追求し、 個人研究も含めた成果を公表するとともに、地域還 元の一環として地域社会の諸活動を支援する。

法律・政治学系 Law and Politics

地域行政組織や社会的諸集団が直面する再編と改 革の課題や新たな地域での役割と在り様に関して, 地域研究団体と協力して総合的研究を行う。

社会・歴史学系 History and Society

「地域社会の総合的研究」。社会学、歴史学の方法 で,地域社会の構造と変動につき研究する。共同研 究を行い、成果は地域社会と共有したい。

経済学系 Economics

市場経済のシステムとパフォーマンス, 世界経済・ 日本経済・地域経済の再生プログラム、グローバリ ゼーションと国民経済の変容を研究する。

経営学系 Business Administration

東日本大震災によって大きな影響を被った地域社 会において、新たな産業を興し地域社会を再生する ために[活力のある企業]が求められており、地域企 業の活力を生み出すための各種研究と成果普及に取 り組んでいる。

数理・情報学系 Mathematics and Information Technology

本学系では研究会を立ち上げ、お互いの研究内容 を紹介したり、研究上の交流を深めている。また、 プロジェクト研究として,地域における工場間の連 携による産業活力創出について調査研究を予定して

機械・電子学系 Mechanical and Electronics Engineering

メカトロニクス技術と心理学・生理学の知見を融 合することにより、安全安心で快適な生活を実現す るための新しいシステムを開発する。

物質・エネルギー学系 Materials and Energy Sciences

材料・資源・エネルギーの観点から、機能性物質 の創製および応用研究を行うとともに、地域の技術 者・研究者との産官学連携も目指す。

生命・環境学系 Life and Environmental Sciences

生命の多様性に関する研究、自然環境や人間活動 の総体としての社会環境に関する研究などを通して 豊かな環境を形成する方法の構築を目指す。

2内施設等

CAMPUS FACILITIES

附属図書館

蔵 書 数 BOOKS AND PERIODICALS

2015. 3. 31

和書	洋書	計	雑	誌 Periodi	cals
和音 Domestic	序音 Foreign	Total	和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total
676,391	232,762	909,153	11,317	3,083	14,400

平成26年度利用状況 UTILIZATION

区分	人 数	Persons	冊 数	Volumes
区 分 Division	年 間 per year	一日平均 per day	年 間 per year	一日平均 per day
館外貸出 Loan	14,013	40.6	35,242	102.2
学類学生 Undergraduates	9,932	28.8	21,170	61.4
大学院学生 Graduate Students	1,598	4.6	4,485	13.0
教 職 員 Faculty and Staff	2,235	6.5	9,021	26.1
学 外 者 External Users	248	0.7	566	1.6
入館者数 Number of Visitors	103,542	300.1		

開館日数 345日 Open 345 days (内土曜日 47日) Saturday 47 days (内日曜日 46日) Sunday 46 days

※図書館では、2014年7月1日より、増築改修工事を行いました。 2015年4月27日からは、段階的に新しい図書館が利用できるように なっています。



附属図書館 University Library



PC Area and Learning Commons

主なコレクション MAIN COLLECTION 震災関連資料コーナー

Earthquake disaster related materials corner 東日本大震災の関連資料をはじめ、震災を原発・ボ ランティア・郷土・教育・科学・防災・産業など多 様な観点から扱った資料を配置。

図書・雑誌・視聴覚資料など2015年3月現在約 4.000点。

文 庫 Book collections 大塚久雄文庫 The Hisao Otsuka Collection

故大塚久雄先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。 その数,合わせて図書6,058冊,雑誌約212タイト ル, 抜刷約1,682点, その他, ノート, 原稿, 講演 テープ, 色紙, 写真, 住所録等個人資料一山。

今野源八郎旧蔵書 The Genpachiro Konno Collection

故今野源八郎先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受 贈。その数,和洋合わせて図書4,455冊,雑誌 294タイトル, 資料13,553点, その他, パンフレッ ト、リーフレット、地図、抜刷、コピーなど一山。 その他, 藤本文庫, 藤田文庫, 栗原文庫, 二宮文庫, 大森文庫,川村重和教授旧蔵書,松井秀親教授旧蔵 書,三宅皓士教授旧蔵書,岡本友孝教授旧蔵書,佐 藤恒久教授旧蔵書, 珠玖拓治教授旧蔵書, 下平尾勲 名誉教授旧蔵書等。

大型コレクション Large collection

〔19~20世紀ロシア・ソビエト研究稀覯資料集〕

19th–20th century Russian and Soviet rare materials collection

〔ロシア帝国・ソビエト連邦法令集〕

Collection of laws and ordinances of the Russian Empire and Soviet Union

〔帝政ロシア及び現代ソビエト社会・経済研究 第1 部,同第2部)

Imperial Russian government and contemporary Soviet society: Economic research part 1 and 2

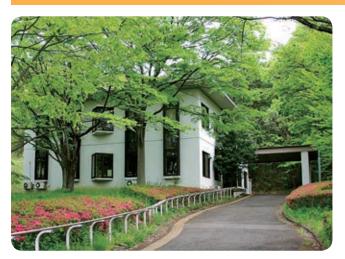
〔体育教育の歴史〕

A collection of rare books in the history of physical education.EDUCATION FOR HEALTH & PUBLIC WELFARE; from the "survival of the fittest" to "fitting the many to survive"



覧 Reading Room

保健管理センター



1981(昭56)年4月に設置され、1982(昭57)年3月 に専用の建物が竣工。同年4月より本格的に業務が開始 された。本センターでは、学生および教職員の健康の保 持増進を図るために、保健管理に関する専門業務を行っ ている。具体的には、保健管理計画の企画及び立案、定 期及び臨時の健康診断、精神的及び身体的健康相談、外 傷・急病の応急処置、カウンセリングなどである。

地域創造支援センター(CERA)



大学の研究・教育の成果を地域の活性化や人材の育成 に役立てていくことを目的として2001(平13)年4月に設 置された本センターは、2008(平20)年4月に、教育面に おける社会貢献である「生涯学習活動」を推進する生涯学習 教育研究センター(1995(平7)年4月設置)と統合し、地域 と大学との協働・連携を推進するセンターとして、以下の 活動を行っている。

- ○自治体及び産業界との連携・相談窓口業務、研究シー ズの出展、地域フォーラムの開催
- ○生涯学習事業(公開講座・公開授業・出前講座)及びわ くわくJr.カレッジ等の地域社会連携事業の企画運営
- ○CERAの広報誌・機関紙の発行、地域の経済社会に関 する資料収集活動。貴重資料(松川資料室等)の管理

平成26年度は、文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」に採択され、再生可能エネル ギー産業の人材育成・プログラム開発に取り組んだほか、研究推進機構と連携し、福島大学研究・地域連携成果報告会を 開催した。

総合情報処理センター



総合情報処理センターは、1969(昭44)年に学内共同 利用施設「計算センター」としてスタートした。その後、 1987(昭62)年に学術研究・情報教育の高度化・多様化, 社会における一層の情報化進展に対応するために, 「情 報処理センター」に改組, さらに2003(平15)年には教 育研究・地域連携のための情報発信など多様な役割を担 うべく省令施設に格上げされ、「総合情報処理センター」 となった。

本センターは、5つの演習室と自習用のコーナーに 300台を超えるパソコンが設置されており、「情報処理 教育の場」・「自己学習スペース」として利用されている

とともに、「情報処理システム及びキャンパスネットワーク(FAINS)の運用・管理」、「本学の認証基盤となる全学認 証システムの運用・管理」、「情報システムの利用についての技術指導」などの業務を行っている。

総合教育研究センター

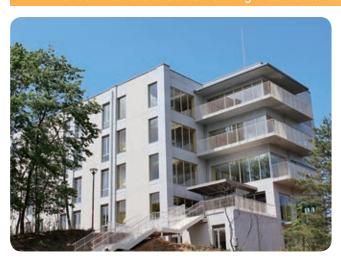


旧教育学部附属教育実践総合センターを拡充・改組し て、「教育改革に関する調査・研究を行うとともに、本 学の教育活動及び教育支援活動を総合的に支援する」こ とを目的に、2005(平17)年4月に設置され2006(平 18) 年に教職履修・FD部門が開設されセンターの運営 体制を確立した。2012(平24)年4月より実態に即した 組織改編(センター長→教育担当副学長兼任, FD部門→ 高等教育開発部門、キャリア開発教育研究部門→キャリ ア研究部門,教育企画室→廃止)を行った。

本センターは、高等教育開発、キャリア研究、教職履 修,教育相談(附属臨床心理・教育相談室を併設),現職 研修の5部門体制となり、「教育活動の質の維持・向上・

改善」、「キャリア開発及び就職支援」、「全学の教師志望者への支援」、「教育現場等からの教育相談」、「現職教職員研 修及び学校教育関係機関との連携 はど全学関係部署と連携した業務を行っている。

うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)



東日本大震災や福島第一原子力発電所事故により世界 的に知れ渡るところとなった福島の住民は、困難を乗り 越え、被災地を復旧・復興させていくという強い意志を 持って立ち上がっている。

地域と共に歩んできた福島大学は、こうした人々とと もに力を合わせ、長期に及ぶ復旧・復興に組織的に対応 するため、平成23年4月に「うつくしまふくしま未来支 援センター」を設立した。

本センターでは、自治体等と協力しながら、

- ・被災したこども・若者たちの学びや自立への支援
- ・地域コミュニティの再生と地域産業の復興への支援
- ・汚染された自然環境の回復への支援
- ・新たな可能性を持つ再生可能エネルギーに関する取組 への支援などを行う。

さらに、双葉郡川内村や南相馬市にもサテライトを設置し、地域に密着した支援活動を展開している。

国際交流センター Fukushima University International Center



福島大学国際交流センターは、海外の大学等との学術 交流及び学生交流の企画・推進、留学生教育の企画立案 及び教育研究面での国際交流を図ることを目的として, 平成24年4月に設立された。留学生の派遣及び受入れ、 短期留学プログラムの企画・立案、留学生の修学上及び 生活上、修学環境の整備及び充実に関するサポートを 行っている。具体的には、学生の留学や国際交流活動に ついての相談、留学生の奨学金や在留資格、地域でのイ ベント等についての案内や手続き業務がある。

日本人学生が留学や語学検定試験を受験する際に参考 となる図書や、留学生が日本語や日本文化を学ぶための 図書,英文書籍の閲覧スペースを設置しており,書籍の 貸出も行っている。



環境放射能研究所は、福島第一原子力発電 所の事故により放出された放射性核種の環境 中の挙動を長期間にわたって調査・解析し, 解明することを目的として2013年7月に設置 された。国内の大学・研究機関、さらには実 績ある海外の研究者・大学・研究機関と連携 して研究活動を行っている。現在の外国人常 勤研究員は10名になり、世界に開かれた環境 放射能研究の先端研究拠点としての役割を 担っている。

研究調査は大気、森林、河川湖沼、海洋と 広範囲にわたる。事故から現在までの環境中 の放射性物質の挙動の解明に加え, 将来の挙 動を予測することも重要である。これらの研

究成果は、放射線防護や効果的な除染方法の策定、住民の帰還や産業の復興など、より具体的な復興活動の基礎となる。 環境中の放射性物質の移行のうち主なものとして水の作用による侵食、運搬、堆積によるものがあるが、それ以外 にも様々なものがある。ひとつには生物作用による移行、つまり生態系への影響である。この研究課題では、野生動 物や魚類への放射性セシウムの移行状況調査とそのメカニズム研究をはじめ,住民の避難によって行動範囲を拡大し た野生動物がもたらすさまざまな影響などのテーマにも取り組んでいる。また、農作物をはじめとする植物がどのよ うなメカニズムで放射能を取り込むのか、土壌粒子の構造や土壌中の化学成分などミクロまで踏み込み、植物生理と の関連を解明することも重要なテーマである。これらは、農林水産業の復興に際して懸念される問題やその発生メカ ニズムを扱う研究であり,問題に対する対策策定や帰還の判断に資するものである。

さらに測定機器の開発や,試料の保管庫として環境放射能のアーカイブセンターとしての機能も備えており,総合 的な環境放射能研究施設として活動を展開している。

2術刊行物

ACADEMIC PUBLICATIONS

2015. 5.	1
左终/// 同*	£h-

		2013. 3.	_
部 局 等 Division	刊 行 物 名 Name	年発行回答 Issues per ye	
福島大学 Fukushima University	福島大学研究年報 Annual Report of Fukushima University	1 🗆	
	福島大学人間発達文化学類論集(人文科学部門) Bulletin of The Faculty of Human Development and Culture (Liberal Arts)	2 🗆	
人 間 発 達 文 化 学 類	// (社会科学部門) (Social Sciences)	2 🗆	
Faculty of Human Development and Culture	# (教育・心理学部門) (Education・Psychology)	2 🗆	
	// (自然科学部門) (Natural Sciences)	2 🗆	
行 政 政 策 学 類 Faculty of Administration and Social Sciences	行政社会論集 The Journal of Administration and Social Sciences	4 🗆	
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	商 学 編 集 Journal of Commerce, Economics and Economic History	4 🗆	
保健管理センター Healthcare Center	福島大学保健管理センター紀要 Bulletin of the Healthcare Center	1 🗆	
地域創造支援センター	地域創造支援センター年報 Annual Report of Center for Regional Affairs	1 🗆	
Center for Regional Affairs	福島大学地域創造 Fukushima University Journal of Regional Affairs	2 🛛	
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education	総合教育研究センター紀要 Bulletin of Center for Research and Development of Education	2 🛛	
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization	うつくしまふくしま未来支援センター年報 Annual Report of Fukushima Future Center for Regional Revitalization	1 🗆	



サテライト等

SATELLITE ETC.

街なかブランチ舟場



街なかブランチ舟場は、平成21年10月1日、福島市舟場町の職員 会館を改修し、教職員の福利厚生施設及び地域との連携を推進する拠 点施設として設置され、以下の事業を行っている。

- ●地域社会、地域住民の福祉・文化の向上を支援
 - ○地域の皆様を対象とした公開講座やセミナー などを開講
 - ○地域の皆様からの臨床心理・教育相談に対応
- ●地域振興・産業の振興を支援
 - ○産業界や地域との共同研究など を実施
 - ○技術相談・経営相談などに対応
 - ○産学連携研究会・産学連携セミ ナーを実施



サテライト教室 Satellite Lecture Rooms

大学院・人間発達文化研究科(学校臨床心理専攻)のみ昼夜開講制を行っている。夜間(火~木:午後6時以降)は遠 隔授業(双方向のテレビ会議システム)を利用した授業を開講しており、科目等履修生としての受講も可能。

遠隔授業は、郡山市(ビッグアイ)、会津若松市(東公民館)、いわき市(生涯学習プラザ)で行う。

CERAリエゾン・オフィス CERA Liaison Office

福島市内の「街なかブランチ舟場」にリエゾン・オフィスを設け、福島大学と地域社会との間により密接な連携・協 働・交流関係を築く場所として,『産・官・民・学』連携を目指し,リエゾン(橋渡し)活動を行う。

福島大学東京連絡事務所(東京都渋谷区)

本学学生が首都圏での就職活動やゼミ活動の連絡場所として、また、入試広報等の活動拠点とする目的のため、福 島大学信陵同窓会東京信陵会「信陵会館」内に平成18年4月1日に開設。

喜多方市産学官連携室(喜多方市熱塩加納総合支所)

喜多方市との協定に基づき、産学官連携事業、地域産業の振興、産業人材の育成事業等の目的のため喜多方市熱塩 加納総合支所(住所: 喜多方市熱塩加納町相田字大森5000)にある「産学官連携室」を県内の大学等で利用している。

うつくしまふくしま未来支援センターいわき・双葉地域支援サテライト(楢葉サテライト、川内分室)

うつくしまふくしま未来支援センターは、東日本大震災及び原発事故に伴い避難を余儀なくされた福島の被災者と 被災地域の復旧・復興の支援に取り組んでおり、いわき・双葉地域支援サテライトは、現地と大学を繋ぐ拠点として 被災地域に密着した活動を行っている。(※楢葉サテライトは平成27年8月より業務開始予定)

このほか南相馬市にもサテライトを設置している。(常駐者なし)

国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE

2015. 5. 1

中華人民共和国				2015. 5. 1
中華人民共和国				
People's Republic of China				Amendment
People's Republic of China Fast China Normal University				
中華人民共和国				
中華人民共和国	中華人民共和国	河北大学	1998年11月2日	
中華人民共和国	中華人民共和国	中南財経政法大学	2001年3月22日	,
中華人民共和国	中華人民共和国	西南交通大学	2011年9月1日	
アメリカ合衆国 United States of America University of Wisconsin Eau Claire Pメリカ合衆国 United States of America University of Wisconsin Eau Claire Dec. 8, 1992 United States of America University of Wisconsin Eau Claire University of Wisconsin Eau Claire Dec. 8, 1992 United States of America Tメリカ合衆国 University at Albarny, State University University at Albarny, State University Jun. 2, 2016 University at Albarny, State University Jun. 3, 2013 Pメリカ合衆国 University at Albarny, State University Jun. 3, 2013 Vトアより力合衆国 University at Colorado State University Jun. 3, 2013 Vトアより力合衆国 University at Colorado State University Jun. 3, 2013 Vトアより力合衆国 University at Colorado State University Jun. 3, 2013 Vトアより力合衆国 University San Francisco State University Jun. 20, 2014年1月24日 Socialist Republic of Vietnam Akina University Hanot College of Social Sciences and Humanities Vトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam Akina University Hanot College of Social Sciences and Humanities Vトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam Akina University Hanot College of Social Sciences and Humanities Vietnam National University Hanot College of Social Sciences and Humanities Vietnam National University Hanot College of Science Vietnam National University Hanot College of Science Vietnam National University Hanot College of Science Vietnam National University Occ. 26, 2014 Vietnam National University Occ. 2014 Vietnam National Vietnam Vie	中華人民共和国	重慶理工大学	2014年10月29日	
University of Wisconsin Eau Claire Dec. 8, 1992 Pメリカ合衆国 United States of America University at Albamy, State University United States of America University at Albamy, State University United States of America University at Albamy, State University United States of America University at Albamy, State University United States of America University at Albamy, State University United States of America University at Albamy, State University United States of America San Francisco State University United States of America San Francisco State University Why Dy				
United States of America	United States of America	University of Wisconsin Eau Claire	Dec. 8, 1992	
University at Albamy, State University of New York Dec. 26, 2012 フリンタス列立大学 Colorado State University Jun. 3, 2013 ファメリカ合衆国 コーラド州立大学 2014年1月24日 Jun. 3, 2013 オアメリカ合衆国 カナンフランスス列立大学 Jun. 24, 2014 ストナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam Albamia University Apr. 3, 2007 オーストラリア クイーンズランド大学 2001年1月26日 Mar. 14, 2011 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナム国家大学ハノイ自然科学大学 2007年9月24日 Mar. 14, 2011 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナムは会主教共和国 ストナム国家大学ハノイ自然科学大学 2007年9月24日 Mar. 14, 2011 ストナム社会主義共和国 ストナム社会主義共和国 ストナム国家大学ハノイ自然科学大学 2007年1月月26日 Mar. 14, 2017 オーストラリア クイーンズランド大学 1000年8月26日 Mar. 14, 2007 オーストラリア カイーンズランド大学 1000年8月26日 Mar. 14, 2007 オーストラリア カイーンズランド大学 2001年10月26日 Mar. 14, 2006 日本内はいいでsity of Oucenshand ストナム社会主義共和国 ストナム国家大学校 2006年3月14日 Nov. 9, 2012 スト 幕 民 国 特国外国語大学校 1000年6月26日 Mar. 14, 2006 日本のようないたが、1000年7月27日 Mar. 14, 2011 スト 幕 民 国 グリル市立大学校 1000年7月27日 Mar. 14, 2011 スト 幕 民 国 グリル市立大学校 1000年7月27日 Mar. 14, 2006 日本のようないたが、1000年7月27日 Mar. 17, 2011 日本のようないたが、1000年7月27日 Mar. 27, 2011 日本のようないたが、1000年7月27日 Apr. 3, 2017年7月27日 スターリング大学 1000年8月27日 Mar. 27, 2011日 スターリング大学 1000年7月27日 Mar. 27, 2011日 スターリング大学 1000年5月27日 Mar. 27, 2011日 スターリング大学 1000年7月27日 Mar. 27, 2011日 スターリング大学 2011年7月27日 Apr. 3, 2017日 スターリング大学 2011年7月27日 Apr. 1, 2015日 スターリング大学 1000年7月27日 Mar. 2011年7月27日 Apr. 1, 2015日 スターリングログ・イングログ・イングログ・イングログ・イングログ・イングログ・イングログ・イングログ・イングログ・イングログ・イングログ・		Middle Tennessee State University		
United States of America				
アメリカ合衆国 United States of America ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam ベトナムは会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam ベトナムは会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam ベトナムは会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam ベトナム国家大学ハノイ教社会科学大学 Vietnam National University Hanol College of Social Sciences and Humanities Vietnam National University Hanol College of Science オーストラリア オーストラリア オーストラリア カーンズランド大学 The University of Queensland ウム: 26, 2001 大韓民国 Republic of Korea Hanku Binkrestly of Foreign Studies 大韓民国 Republic of Korea サウル・市立大学校 University of Seoul 大韓民国 Republic of Korea ウル・カンタースのフェッシスのの 大韓民国 Republic of Korea カッル・カンタースのフェッシスのの 大韓民国 Republic of Korea カッル・カンタースのフェッシスのの ロータ大学 Chung-Ang University 第国 国立会大大学 National Taipei University 第国 国立会大学 National Taipei University カン・アンア ア National Taipei University クマンチェスター大学 The University of Sturling カスタースのファッシスのの カン・オースのファッシスのの ロータン・アン・ア ファング大学 フィンチェスター大学 The University of Sturling カスターの フィンチェスター大学 The University of Sturling カスターの フィンチェスター大学 The University of Winchester ア フルール大学ボーフム Ruhr-Universitity of Belarus Nov. 19, 2014 ア フルール大学ボーフム Ruhr-Universitity of Belarus State University カスシル・フロアナ アカルトシ東和国 Republic of Indonesia アカル・シ東カスト大学 University of Bucharest アカル・シ東カスト大学 Dec. 22, 2011 アカンスト大学 Dec. 22, 2011 アカンストナスター アカンスト大学 Dec. 22, 2011 アカンストナスター アカンストナス学 Dec. 22, 2011 アカンストナスター アカンストスター アカンスター アカンストスター アカンスター アカンスター アカンストスター アカンストスター アカンスター				
ペトナム社会主義共和国	アメリカ合衆国	サンフランシスコ州立大学	2014年1月24日	
ペトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam National University Hanol College of Science	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学	2001年6月20日	
### Autoralia	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学	2007年9月24日	Wat. 14, 2011
大韓民国	オーストラリア	クイーンズランド大学	2001年10月26日	
Republic of Korea Hankuk University of Foreign Studies Mar. 14, 2006 Jan. 27, 2011 大 韓 民 国 ソウル市立大学校 2011年1月27日 Jan. 27, 2011 大 韓 民 国 中央大学 2014年11月19日 Nov. 19, 2014 台 湾 国立台北大学 2007年4月3日 Apr. 3, 2007 Apr. 3, 2007年4月3日 Apr. 3, 2007年4月3日 Apr. 3, 2007年4月3日 Apr. 3, 2007年4月3日 Apr. 3, 2012 英 国				
Republic of Korea University of Seoul	Republic of Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Mar. 14, 2006	
Republic of Korea				
## Diagrams				
英 国		国立台北大学		
英国	英国	スターリング大学	2008年1月25日	
ドイツ連邦共和国 Federal Republic of Germany ルーマニア Romania ベラルーシ共和国 Republic of Belarus Republic of Indonesia ウクライナ Ukraine ウクライナ Ukraine ウクライナ Ukraine アクライナ ウクライナ レオデッサ国立環境大学 ウクライナ ウクライナ ウクライナ ウクライナ ウクライナ カイデッサ国立環境大学 ウクライナ ウクライナ カイデッサ国立環境大学 ウクライナ カイデッサ国立環境大学 カイデッサ国立環境大学 カイデッサ国立環境大学 カイデッサ国立環境大学 カクライナ カイデッサ国立環境大学 カクライナ カクライナ カクライナ カクライナ カクライナ カクライナ カイデッサ国立環境大学 カクライナ カクライナ カイデッサ国立環境大学	英国	ウィンチェスター大学	2010年5月29日	
ルーマニア Romania University of Bucharest Dec. 22, 2011 Dec.	ドイツ連邦共和国	ルール大学ボーフム	2009年10月8日	
ペラルーシ国立大学 Republic of Belarus	ルーマニア	ブカレスト大学	2011年12月22日	
Republic of Belarus Belarusian State University Feb. 24, 2012 インドネシア シアクアラナザ 2014年7月8日 Syiah Kurara University Jul. 8, 2014 ウクライナ ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine Public and Environmental Sciences of Ukraine Public Apr. 1, 2015 ウクライナ チェルニーとウ国立工科大学 2015年4月1日 Chernihiv National University of Technology Apr. 1, 2015 ウクライナ オデッサ国立環境大学 2015年4月1日				
Republic of Indonesia Syiah Kurara University Jul. 8, 2014 ウクライナ ウクライナ国立生命環境科学大学 2015年4月1日 Ukraine National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine Apr. 1, 2015 ウクライナ チェルニーとウ国立工科大学 2015年4月1日 Ukraine Chernihiv National University of Technology Apr. 1, 2015 ウクライナ オデッサ国立環境大学 2015年4月1日	Republic of Belarus	Belarusian State University	Feb. 24, 2012	
ÜkraineNational University of Life and Environmental Sciences of UkraineApr. 1, 2015ウクライナチェルニーとウ国立工科大学2015年4月1日UkraineChernihiv National University of TechnologyApr. 1, 2015ウクライナオデッサ国立環境大学2015年4月1日	Republic of Indonesia	Syiah Kurara University	Jul. 8, 2014	
UkraineChernihiv National University of TechnologyApr. 1, 2015ウクライナオデッサ国立環境大学2015年4月1日		National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine		
ウクライナ オデッサ国立環境大学 2015年4月1日		チェルニーヒウ国立工科大学 Chernihiv National University of Technology		
			2015年4月1日 Apr. 1, 2015	

学生交流協定校における交換留学 Student Exchanges

年度 Year	派遣大学 Host Institution	人数 Number of Students	派遣元大学(受入れ) Home Institution	人数 Number of Students
	コロラド州立大学 Colorado State University	1	ルール大学ボーフム Ruhr-Universit ä t Bochum	2
	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany,States University of New York	1	河北大学 Hebei University	5
	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	1		
27	ルール大学ボーフム Ruhr-Universit ä t Bochum	2		
2015	ブカレスト大学 University of Bucharest	1		
	韓国外国語大学 Hankuk University of Foreign Studies	1		
	華東師範大学 East China Normal University	2		
	河北大学 Hebei University	2		

学生交流協定校における短期プログラム Short-term Programs

201	11	1~20	115	3 31
201	4.4	1.07	ノIン	۱ د.د.

		Ja onon tomm	rogramo	2014.4.1~2015.5.51
年度 Year	派遣大学 Host Institution	人数 Number of Students	派遣元大学(受入れ) Home Institution	人数 Number of Students
	クイーンズランド大学 The University of Queensland	20	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	10
	ルール大学ボーフム Ruhr-Universit ä t Bochum	17	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	6
26 2014	コロラド州立大学 Colorado State University	4	ルール大学ボーフム Ruhr-Universit ä t Bochum	3
			河北大学 Hbei University	2
			コロラド州立大学 Colorado State University	1

歴代学長

LIST OF FORMER AND CURRENT PRESIDENTS

西 沢 喜洋芽 NISHIZAWA Kiyome	昭24. 5.31 May. 31, 1949 ~ 昭29. 2.17 Feb. 17, 1954
阿部久次 ABE Kyuji	昭29. 2.17 Feb. 17, 1954 ~ 昭32. 2.16 Feb. 16, 1957
阿 部 久 次 ABE Kyuji	昭32. 2.17 Feb. 17, 1957 ~ 昭35. 2.16 Feb. 16, 1960
阿 部 久 次 ABE Kyuji	昭35. 2.17 Feb. 17, 1960 ~ 昭37.10.30 Oct. 30, 1962
服 部 英太郎 HATTORI Eitaro	昭37.10.30 ~ 昭40.10.29 Oct. 30, 1962 ~ Oct. 29, 1965
服 部 英太郎 HATTORI Eitaro	昭40.10.30 Oct. 30, 1965 ~ 昭40.12.20 Dec. 20, 1965
平 井 博 (事務取扱) HIRAI Hiroshi (acting)	昭40.12.20 Dec. 20, 1965 ~ 昭41. 2.18 Feb. 18, 1966
海 後 勝 雄 KAIGO Katsuo	昭41. 2.18 Feb. 18, 1966 ~ 昭43.10.15 Oct. 15, 1968
玉 山 勇 (事務取扱) TAMAYAMA Isamu (acting)	昭43.10.15 Oct. 15, 1968 ~ 昭44.12. 4 Dec. 4, 1969
野村正次 (事務取扱) NOMURA Masaji (acting)	昭44.12. 4 Dec. 4, 1969 ~ 昭46. 3.31 Mar. 31, 1971
安田初雄 (事務取扱) YASUDA Hatsuo (acting)	昭46. 4. 1 Apr. 1, 1971 ~ 昭48. 2.16 Feb. 16, 1973
玉 山 勇 TAMAYAMA Isamu	昭48. 2.16 Feb. 16, 1973 ~ 昭51. 2.15 Feb. 15, 1976
渡 辺 源次郎 WATANABE Genjiro	昭51. 2.16 Feb. 16, 1976 ~ 昭54. 2.15 Feb. 15, 1979

渡 辺 源次郎	昭54. 2.16		昭56. 2.15
WATANABE Genjiro	Feb. 16, 1979		Feb. 15, 1981
伊藤 巴喜夫	昭56. 2.16	~	昭59. 2.15
ITO Mikio	Feb. 16, 1981		Feb. 15, 1984
山田舜	昭59. 2.16	~	昭 62. 2.15
YAMADA Akira	Feb. 16, 1984		Feb. 15, 1987
山田舜	昭 62. 2.16	~	平元. 2.15
YAMADA Akira	Feb. 16, 1987		Feb. 15, 1989
篠 笥 憲 爾	平元. 2.16	~	平4. 2.15
SASAKI Kenji	Feb. 16, 1989		Feb. 15, 1992
星 埜 惇	平4.2.16	~	平7. 2.15
HOSHINO Atsushi	Feb. 16, 1992		Feb. 15, 1995
吉原泰助	平7. 2.16		平10. 2.15
YOSHIHARA Taisuke	Feb. 16, 1995		Feb. 15, 1998
吉原泰助	平10. 2.16		平12. 2.15
YOSHIHARA Taisuke	Feb. 16, 1998		Feb. 15, 2000
吉原泰助	平12. 2.16	~	平14. 2.15
YOSHIHARA Taisuke	Feb. 16, 2000		Feb. 15, 2002
臼 井 嘉 一	平14. 2.16	~	平18. 3.31
USUI Yoshikazu	Feb. 16, 2002		Mar. 31, 2006
今 野 順 夫	平18.4.1	~	平22. 3.31
KONNO Toshio	Apr. 1, 2006		Mar. 31, 2010
入戸野 修	平22.4.1	~	平26. 3.31
NITTONO Osamu	Apr. 1, 2010		Mar. 31, 2014
中 井 勝 己	平26.4.1	~	

ADMINISTRATORS

2015. 5. 1

					2015. 5. 1
学 長 President	中	井	勝	己	NAKAI Katsumi
理事・副学長(総務担当) Executive Director ・ Vice President (General Affairs)	功	刀	俊	洋	KUNUGI Toshihiro
理事・副学長(学務担当) Executive Director ・ Vice President (Academic Affairs)	Ξ	浦	浩	喜	MIURA Hiroki
理事・副学長(教育担当) Executive Director ・ Vice President (Educational Affairs) 総合教育研究センター長 Director, Center for Research and Development of Education	神	子	博	昭	KAMIKO Hiroaki
理 事 Executive Director	青	柳	隆	夫	AOYAGI Takao
監 事 Auditor	平	Ш	健	_	HIRAYAMA Kenichi
監 事 Auditor	高	橋	宏	和	TAKAHASHI Hirokazu
副学長 (研究担当) Vice President (Research Affairs) 附属図書館長 Director, University Library 総合情報処理センター長 Director, Information Network Center	千	葉	悦	子	CHIBA Etsuko
副学長 (地域連携担当) Vice President (Regional Affairs) 地域創造支援センター長 Director, Center for Regional Affairs 国際交流センター長 Director, International Center	小	沢	喜	仁	OZAWA Yoshihito
保健管理センター所長 Director, Healthcare Center	渡	辺		厚	WATANABE Atsushi
うつくしまふくしま未来支援センター長 Director, Fukushima Future Center for Regional Revitalizati	on中	Ш	スワ	ラ	NAKATA Sura
環境放射能研究所長 Director, Institute Environmental Radioactivity	難	波	謙	=	NANBA Kenji
人文社会学群長 Provost, Cluster of Human and Social Sciences	真	\blacksquare	哲	也	SANADA Tetsuya
人間発達文化学類長 Dean, Faculty of Human Development and Culture	千	葉	養	伍	CHIBA Yogo
行政政策学類長 Dean, Faculty of Administration and Social Sciences	久	我	和	巳	KUGA Kazumi
経済経営学類長 Dean, Faculty of Economics and Business Administration	真	⊞	哲	也	SANADA Tetsuya
理工学群長 Provost, Cluster of Science and Technology	=	見	亮	弘	FUTAMI Ryoko
共生システム理工学類長 Dean, Faculty of Symbiotic Systems Science	=	見	亮	弘	FUTAMI Ryoko
統括学系長 Chair, Researchers' Department	小	島		彰	KOJIMA Akira
附属幼稚園長 Kindergarten Principal	渡	邊		隆	WATANABE Takashi
附属小学校長 Elementary School Principal	鶴	巻	正	子	TSURUMAKI Masako
附属中学校長 Junior High School Principal	Ш	本	和	久	KAWAMOTO Kazuhisa
附属特別支援学校長 Special Needs Education School Principal	鈴	木	裕	美子	SUZUKI Yumiko
事 務 局 長 Director General	中	村	信	_	NAKAMURA Shinichi
役員室長 Chief, Executive Unit	南		俊	=	MINAMI Shunji

評価室長 Chief, Assessment Unit	菅 野 芳 昭 KANNO Yoshiaki
監査室長 Chief, Auditing Unit	阿久津 秀 美 AKUTSU Hidemi
総務課長 Chief, General Affairs Division	山 下 直 也 YAMASHITA Naoya
人 事 課 長 Chief, Personnel Division	上 野 圭 三 UENO Keizo
財務課長 Chief, Financial Affairs Division	齋 藤 祐 司 SAITO Yuji
施設課長 Chief, Facilities Division	佐藤一夫 SATO Kazuo
教務課長 Chief, Educational Affairs Division	今 井 賢 司 IMAI Kenji
学生課長 Chief, Student Affairs Division	齋 藤 正 廣 SAITO Masahiro
就職支援室長 Chief, Employment Support Unit	野内 正 NOUCHI Tadashi
入 試 課 長 Chief, Admissions Office	佐藤孝夫 SATO Takao
研究振興課長 Chief, Research Promotion Division	荒木正寛 ARAKI Masahiro
地域連携課長 Chief, Regional Collaboration Division	三本木 勝 則 SANBONGI Katsunori
学術情報課長 Chief, Academic Information Division	大 沼 忠 弘 ONUMA Tadahiro

経営協議会委員

MANAGEMENT COUNCIL

2015. 5. 1

					2010.0.1
学外委	員				
阿	部		正	学校法人福島学院理事長顧問,福島学院大学短期大学部教授	ABE Tadashi
菅	野	典	雄	福島県相馬郡飯舘村長	KANNO Norio
近	藤	貴	幸	福島県企画調整部長	KONDO Takayuki
清	水		潔	明治大学特任教授,元文部科学事務次官	SHIMIZU Kiyoshi
杉	原	陸	夫	財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構理事長,元福島県教育長	SUGIHARA Rikuo
⊞ .	原	博	人	前福島大学監事,元宇都宮大学長	TABARA Hiroto
富	\blacksquare	孝	志	前財団法人福島県文化振興事業団理事長,元福島県教育長	TOMITA Takashi
林		由美	€子	タカラ印刷株式会社取締役会長	HAYASHI Yumiko
八	島	洋	_	福島市政策推進部長	YASHIMA Yoichi
山山	崎	捷	子	株式会社ホテル・ニューパレス代表取締役会長,国際女性教育振興会福島支部相談役	YAMAZAKI Shoko
渡	邊	博	美	福島ヤクルト販売株式会社代表取締役会長、福島商工会議所会頭	WATANABE Hiromi
学内委	員				
中	井	勝	己	学長	NAKAI Katsumi
功	刀	俊	洋	理事・副学長(総務担当)	KUNUGI Toshihiro
			喜	理事・副学長(学務担当)	MIURA Hiroki
神	子	博	昭	理事・副学長(教育担当)・総合教育研究センター長	KAMIKO Hiroaki
		隆	夫	理事	AOYAGI Takao
		養	伍	人間発達文化学類長	CHIBA Yogo
			巳	行政政策学類長	KUGA Kazumi
		哲	也	経済経営学類長	SANADA Tetsuya
			弘	共生システム理工学類長	FUTAMI Ryoko
中:	村	信	_	事務局長	NAKAMURA Shinichi

教育研究評議会評議員

EDUCATION AND RESEARCH COUNCIL

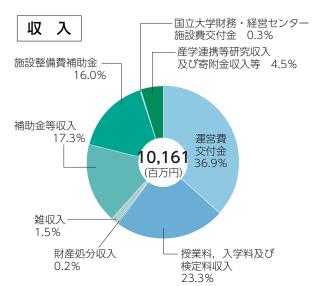
2015. 5. 1

					2015. 5. 1
中	井		2	学長	NAKAI Katsumi
功	刀	俊	洋	理事・副学長(総務担当)	KUNUGI Toshihiro
Ξ	浦	浩	喜	理事・副学長(学務担当)	MIURA Hiroki
神	子	博	昭	理事・副学長(教育担当)・総合教育研究センター長	KAMIKO Hiroaki
千	葉	悦	子	副学長(研究担当)・附属図書館長・総合情報処理センター長	CHIBA Etsuko
小八	沢	喜	仁	副学長(地域連携担当)・地域創造支援センター長・国際交流センター長	OZAWA Yoshihito
千	葉	養	伍	人間発達文化学類長	CHIBA Yogo
久	我	和	巳	行政政策学類長	KUGA Kazumi
真	\blacksquare	哲	也	経済経営学類長	SANADA Tetsuya
=	見	亮	弘	共生システム理工学類長	FUTAMI Ryoko
中	村	信	_	事務局長	NAKAMURA Shinichi
小八	島		彰	統括学系長	KOJIMA Akira
朝	賀	俊	彦	人間発達文化学類	ASAKA Toshihiko
松	下	行	則	人間発達文化学類	MATSUSHITA Yukinori
\blacksquare	村	奈保	呆子	行政政策学類	TAMURA Nahoko
鈴	木	典	夫	行政政策学類	SUZUKI Norio
佐	野	敦	至	経済経営学類	SANO Atsushi
冏	部	高	樹	経済経営学類	ABE Takaki
佐	藤	理	夫	共生システム理工学類	SATO Michio
山		克	彦	共生システム理工学類	YAMAGUCHI Katsuhiko

収入・支出決算額_(平成26年度)

CLOSING ACCOUNTS: REVENUE AND EXPENDITURE 2014

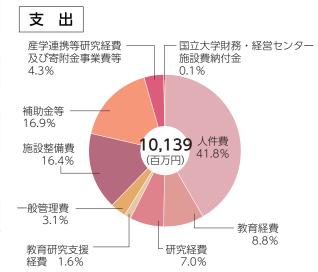
収 入 REVENUE		(百万円)
区 分 Division of Revenue	[26年度] Amount [2014]	[25年度] (参考) Amount [2013] (Ref.)
運 営 費 交 付 金 Total Grant for Management Expense	3,750	3,389
授業料,入学料及び検定料収入 Tuition and Examination Fees	2,362	2,357
財産処分収入 Income earned through Disposition of Property	20	_
雑 収 入 Miscellaneous Income	152	305
補助金等収入 Subsidy Income	1,755	1,528
施 設 整 備 費 補 助 金 Subsidies for Maintenance of University Facilities	1,628	1,015
国立大学財務・経営センター施設費交付金 Grant-in-Aid from the CUFM (Center for National University Finance and Management) for facilities maintenance	30	30
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 Income from Industry-University Cooperative Research and Donations	461	327
引 当 金 取 崩 Reserve Fund Reversal	_	13
目 的 積 立 金 取 崩 Purpose Reserve Fund Reversal		_
合 計 Total	10,161	8,967



+	ж	EXPENDITURE
文	ш	EVLEINDLIGHE

/	\Box
	щ١

区 Division of Expenditure	[26年度] Amount [2014]	[25年度] (参考) Amount [2013] (Ref.)
人 件 費 Personal Expenses	4,233	4,181
教育経費 Education Expenses	891	1,040
研究経費 Research Expenses	714	492
教育研究支援経費 Expenses for Supporting Education and Research	161	168
一般管理費Administrative Expenses	313	337
施 設 整 備 費 Supplies and Equipment Cost	1,658	1,045
補 助 金 等 Subsidy	1,716	1,407
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 Budget for Industry-University Cooperative Research and Funding	440	469
国立大学財務・経営センター施設費納付金 Payment to the CUFM (Center for National University Finance and Management) for facilities maintenance	9	_
合 計 Total	10,139	9,143



学研究費助成事業

GRANT-IN-AID FOR SCIENTIFIC RESEARCH

平成27年度 Fiscal Year 2015

		1 19027 - 192	
研究種目 Research Category	内定件数 Number	直接経費(千円) Direct Expenses (in thousand ye	間接経費(千円) en)Indirect Expenses (in thousand yen)
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	1	2,800	840
基盤研究(S) Scientific Research (S)	1	24,700	7,410
基盤研究(A) Scientific Research (A)	2	14,200	4,260
基盤研究(B) Scientific Research (B)	9	38,800	11,640
基盤研究(C) Scientific Research (C)	47	44,100	13,230
挑戦的萌芽研究 Challenging Exploratory Research	6	6,500	1,950
若 手 研 究 (A) Young Scientists (A)	2	4,300	1,290
若 手 研 究 (B) Young Scientists (B)	27	18,700	5,610
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	2	1,300	390
研究成果公開促進費(学術図書) Publication of Scientific Research Results (Scientific Literature)	0	0	0
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	1	1,000	0
合 計 Total	98	156,400	46,620



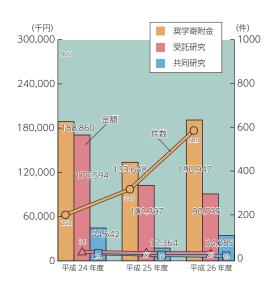
*間接経費は含まない

部資金

FUNDS FROM OTHER SOURCES

平成26年度 Fiscal Year 2014

研究種目 Subject for Research	件数 Number	金額(千円) Amount
奨 学 寄 附 金 Grants and Endowments	585	190,947
受 託 研 究 Contract Research	23	90,735
共同研究 Cooperative Research	13	34,285
合 計 Total	621	315,967



NUMBER OF EXECUTIVES, FACULTY AND STAFF

2015.5.1

職種 Job Classification 区分Division	役 学長 President	理事・副学長	ectors 監事 Auditor	教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	助手 Instructors	計 Sub Total	附属学校教員 Teachers of Special School	事務系職員 Administration Officers	合計 Total
現 Number of Regular Staff	1	4*1	2*2	132	94	6	1	1	241	82	133	456
役 Number of Present Staff	1	4*1	2*2						7			7
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture				48	23	2			73			73
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences				22	20	1	0	1	44			44
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration				28	22	1	1		52			52
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science				27	22	1			50			50
附属図書館 University Library												0
保健管理センター Healthcare Center				1	1				2			2
地域創造支援センター Center for Regional Affairs					1				1			1
総合情報処理センター Information Network Center					1				1			1
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education				3	3				6			6
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization												0
国際交流センター International Center												0
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity				3	1	1			5			5
附属幼稚園 Kindergarten										4		4
附属小学校 Elementary School										29		29
附属中学校 Junior High School										22		22
附属特別支援学校 Special Needs Education School										27		27
事務局 Administration Bureau		E6-→- 1 1 1 L 344+					- IIII C-				133* ³	133

^{*1} うち1名は非常勤理事

学志願者及び入学者

NUMBER OF APPLICANTS AND ENROLLED STUDENTS

学	2015.5.1		
学群	・学類 Cluster・Faculty	年度 Year	27 2015
	人間発達文化学類	入 学 志 願 者 Number of Applicants	1,133
文社	Faculty of Human Development and Culture	入 学 者 Number of Students Admitted	289
人文社会学群 〇	行政政策学類 Faculty of Administration	入 学 志 願 者 Number of Applicants	790
	Faculty of Administration and Social Sciences	入 学 者 Number of Students Admitted	227
Cluster of Human and Socia Sciences	経済経営学類	入 学 志 願 者 Number of Applicants	633
r of H	Faculty of Economics and Business Administration	入 学 者 Number of Students Admitted	233
lumai	夜 間 主 コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	入 学 志 願 者 Number of Applicants	83
n and		入 学 者 Number of Students Admitted	53
Soci		入 学 志 願 者 Number of Applicants	2,639
<u>a</u>	Sub Total	入 学 者 Number of Students Admitted	802
Cluster	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic	入 学 志 願 者 Number of Applicants	926
理型工	Systems Science	入 学 者 Number of Students Admitted	185
Cluster of Science and Technology 理工学群	計	入 学 志 願 者 Number of Applicants	926
nology	Sub Total	入 学 者 Number of Students Admitted	185
		入 学 志 願 者 Number of Applicants	3,565
	Total	入 学 者 Number of Students Admitted	987

	大学院(修士課程及)	軒じ	軒前期課程)	GRAI	DUATE	SCHO	OOL	2015	5.5.1
	研究科 Graduate School	_	年度	Year	23 2011	24 2012	25 2013	26 2014	27 2015
Ī	人間発達文化研究科 Human		く 学志願者 lumber of Appl	icants	83	73	70	72	65
	Development and Culture		く学者 umber of Students A	dmitted	44	43	45	42	41
	地域政策科学研究科 Public Policy and	フ N	く学志願者 lumber of Appl	icants	17	22	22	16	9
	Regional Administration		、学者 umber of Students A	dmitted	12	20	15	10	8
	経済学研究科		く 学志願者 lumber of Appl	icants	34	27	21	18	34
	Economics		入学者 Number of Students Admitted		20	16	16	10	27
		4月期	入学志願者 Number of App		63	60	52	31	44
	共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems	入学	入学者 Number of Students	Admitted	54	47	41	28	40
	Symbiotic Systems Science and Technology		入学志願者 Number of App			5	2	0	実施予定
		10月期入学	入学者 Number of Students	Admitted		4	2	0	予定
	合 計		入学志願者 Number of Applicants			182	170	139	152
	Total	N	、学者 umber of Students A	dmitted	130	126	121	92	116
	* 10 D #D 3 #414 75	1 /-	rd=1 - = 1 1						

^{※ 10}月期入学は翌年度に計上

大学院(博士後期	課程) GRA	ADUAT	E SCH	HOOL		201	5.5.1
研究科 Graduate School	年度	Year	23 2011	24 2012	25 2013	26 2014	27 2015
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems	入学志願者 Number of Ap	plicants	12	9	11	4	3
Science and Technology	入学者 Number of Student	s Admitted	10	7	8	4	3
合 計	入学志願者 Number of Ap	plicants	12	9	11	4	3
Total	入学者 Number of Student	s Admitted	10	7	8	4	3
*	41470						

[※] 編入学・学士入学は除く。※ 外国人留学生を含む。

^{*2} 監事は非常勤

^{*3} 各部局等に配置される職員を含む

学生の定員及び現員

NUMBER OF STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES

2015.5.1

区分 Classification = 第477.7% H3	Annua New .	収 _S SS	現	現 員 Present Number of St				f Students	
学群・学類 Cluster・Faculty にlassification	Annual Quota for New Applicants 入学定員	Standard Student 収容定員	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合 To	計 tal	
人 文 社 会 学 群 Cluster of Human and Social Sciences	765 ③	3,060 ©	441 360	454 357	440 407	539 430	1,874 1,554	3,428	
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	270 10	1,080	117 172	127 165	103 197	147 196	494 730	1,224	
一 行政政策学類 Faculty or Administration and Social Sciences	210 10	840 20	132 95	125 90	130 107	147 120	534 412	946	
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	225 10	900 20	162 70	159 78	170 70	210 79	701 297	998	
で間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	60	240	30 23	43 24	37 33	35 35	145 115	260	
理 工 学 群 Cluster of Science and Technology	180	720	153 32	159 35	148 39	177 39	637 145	782	
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	180	720	153 32	159 35	148 39	177 39	637 145	782	
合 計 Total	945 ③	3,780 @	594 392	613 392	588 446	716 469	2,511 1,699	4,210	

[※] 平成16.10全学再編により,教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組,理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17.4学年受入)。
※ ○は3年次編入学生定員で外数(人文社会学群:平成19.4~)。
※ 平成24年度から教育学部・行政社会学部・経済学部は在籍している学生がいない為,廃止。
※ 黒文字は男子,赤文字は女子。

大学院(修士課程・博士課程) GRADUATE SCHOOLS

2015.5.1

研究科名 Graduate School	専 攻 名 Majors	課程名 Course	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現 員 Present Number of Students
	教職教育専攻 Teacher Development	修士課程 Master	11	22	13 13
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	地域文化創造専攻 Creation of Regional Culture	修士課程 Master	20	40	20 19
	学校臨床心理専攻 School and clinical Psychology	修士課程 Master	9	18	8 16
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional administration	地域政策科学専攻 Public Policy and Region Administration	修士課程 Master	20	40	20 10
経済学研究科	経済学専攻 Economics	修士課程 Master	10	20	14 3
Economics	経営学専攻 Business Administration	修士課程 Master	12	24	20 5
		修士課程 Master			0
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	共生システム理工学専攻 Symbiotic Systems Science and Technology	博士前期課程 Master	60	120	65 9
		博士後期課程 Doctor	6	18	18 3
	合 計 Total		148	302	178 78

[※] 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がいない為、廃止。 ※ 黒文字は男子、赤文字は女子。 ※ 経済学研究科の入学定員:平成25年度まで経済学専攻12名、経営学専攻10名。

卒業生数及び修了生数

NUMBER OF GRADUATES

学群・学類 UNDERGRADUATES

2015.5.1

子研・子類 UND	INGNADUATES							015.5.1
区分 Classification 学群·学類 Cluster·Faculty		H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	計 Total
人文社会学群 Cluster of	Human and Social Sciences	768	815	829	816	811	793	4,832
人間発達文化	学類 Faculty of Human Development and Culture	282	289	282	285	286	271	1,695
人間発達専	攻 Human Development	131	128	122	120	116	114	731
文化探究専	攻 Cultural Exploration	90	102	108	103	109	98	610
スポーツ・	芸術創造専攻 Sports and Arts	61	59	52	62	61	59	354
行政政策学類	Faculty of Administration and Social Sciences	223	219	230	229	227	234	1,362
法学専攻 La	aw.	78	73	88	59	80	90	468
地域と行政	専攻 Community Management	106	105	104	141	109	104	669
社会と文化	専攻 Social and Cultural Studies	39	41	38	29	38	40	225
経済経営学類	Faculty of Economics and Business Administration	206	248	255	247	235	224	1,415
経済分析専	攻 Economic Analysis	30	39	41	46	44	45	245
国際地域経	済専攻 International and Regional Economy	68	92	101	107	68	85	521
企業経営専	攻 Business Administration	108	117	113	94	123	94	649
夜間主コース	(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	57	59	62	55	63	64	360
文化教養モ	デル Culture and Liberal Arts	8	16	14	8	22	15	83
法政策モデ	ル Law and Policy	14	7	8	11	6	9	55
コミュニテ	ィ共生モデル Community Building and Preservation	14	14	20	19	18	17	102
ビジネス探	究モデル Business	21	22	20	17	17	23	120
理工学群 Cluster of Scient	ence and Technology	144	199	191	187	167	169	1,057
共生システム	理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	144	199	191	187	167	169	1,057
人間支援シ	ステム専攻 Human Support System	44	71	63	68	55	65	366
産業システ	ム工学専攻 Industrial System	45	71	77	68	63	57	381
環境システ	ムマネジメント専攻 Environmental System Management	55	57	51	51	49	47	310
	合 計 Total	912	1,014	1,020	1,003	978	962	5,889

[※] 平成16.10全学再編により、教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組、理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17. 4学生受入)

大 学 院 GRADUATE SCHOOL

2015.5.1

7 4 3 170									2015.5.1
修 科·課程 Course	了年度 Year	S52~ H20 1977~ 2008	H21 2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	計 Total
人 間 発 達 文 化 研 究 科 Human Development and Culture	修士課程 Master			40	38	37	36	42	193
教育学研究科 Education	修士課程 Master	678	32	6	3				719
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional administration	修士課程 Master	203	10	15	18	13	13	10	282
経済学研究科 Economics	修士課程 Master	273	15	17	15	16	19	13	368
	修士課程 Master		22	57	5		1		85
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	博士前期課程 Master				44	45	40	45	174
	博士後期課程 Doctor					3	4	4	11
合 計	Total	1,154	79	135	123	114	113	114	1,832

[※] 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がいない為、廃止

学部 FACULTY 2015.5.1

学部	FACULTY		2015.5.1	_
学部 Faculty	区 分 Classification	課程及び学科 Course or Department	S25∼ H23 1950 ∼ 2011 dž Total	
教育学部	Faculty Education		21,264	* 1
	小学校教員養成課程 Elementa	ry School Teachers Course	9,338	% 2
	中学校教員養成課程 Junior Hig	gh School Teachers Course	5,222	* 2
	養護学校教員養成課程 Teache	rs Course for Mentally and Physically Handicapped Children	485	% 2
	幼稚園教員養成課程 Kinderga	rten Teachers Course	590	% 2
	生涯教育課程 Department of L		835	% 3
	学校教育教員養成課程 Depart	ment of Teacher Training	1,337	_
	特別教科(理科)教員養成課程(Senior High School Teachers Course (Science Education)	601	
	特別教科(保健体育)教員養成語	課程 Senior High School Teachers Course (Physical Education)	1,188	_
	その他 Others		7	
	2年課程	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course	1,004	* 4
	Two Year Courses	中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course	657	% 4
行政社会	学部 Faculty of Administration a	and Social Sciences	4,554	* 1
	昼間主コース	行政学科 Law and Administration Department	2,469	
	Daytime- centered Courses	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department	1,058	
	夜間主コース	行政学科 Law and Administration Department	620	
	Evening- centered Courses	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Departmen	407	
経済学部	Faculty of Economics		15,353	* 1
		経済学科 Economics Department	6,211	* 5
		経営学科 Business Administration Department	4,197	% 5
	昼間主コース Daytime-	現代経済課程 Contemporary Economics Course	838	_
	centered Courses	企業経営課程 Business Management Course	1,206	
	Courses	国際経済社会課程 International Economics and Society Course	599	_
		産業情報工学課程 Industrial Economics Engineering Course	151	
		経済学科 Economics Department	919	<u>*</u> 5
	夜間主コース Evening-	経営学科 Business Administration Department	717	% 5
	centered Courses	現代経済課程 Contemporary Economics Course	205	_
		企業経営課程 Business Management Course	310	
短大 Jun	nior College	経営学科 Business Administration Department	2,116	% 6
		合 計 Total	43,287	

- ※1 教育学部,行政社会学部,経済学部は平成17年度から学生募集停止 ※2 小学校教員養成課程,中学校教員養成課程,養護学校教員養成課程,幼稚園養成課程は平成11年度から学生募集停止 ※3 生涯教育課程は平成7年4月設置 ※4 2年課程は昭和33年度から学生募集停止 ※5 経済学部経済学科,経営学科は平成8年度から学生募集停止 ※6 短大は昭和55年3月廃止

専 攻 科 ONE-YEAR GRADUATE PROGRAM

13 12 11 0112 1211	Tarribortie i Hoarrim	
	修了年度 Year	S31∼H3 1956∼1991
専攻 Course		≣† Total
	保健体育専攻 Physical Education	30
教育専攻科 Education	教育専攻 Pedagogy	8
	理科専攻 Science Education	19
経済学専攻科 Economics	経理経営専攻 Acounting and Management	24

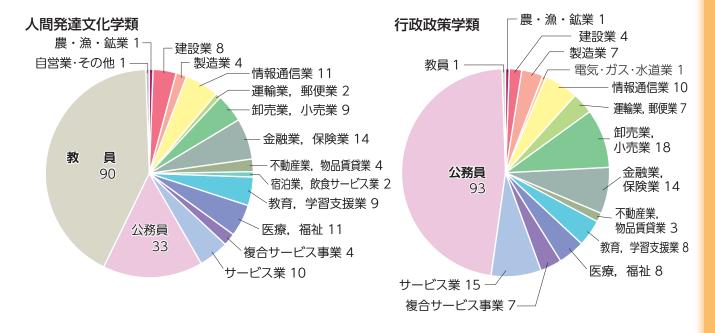
卒業生就職状況

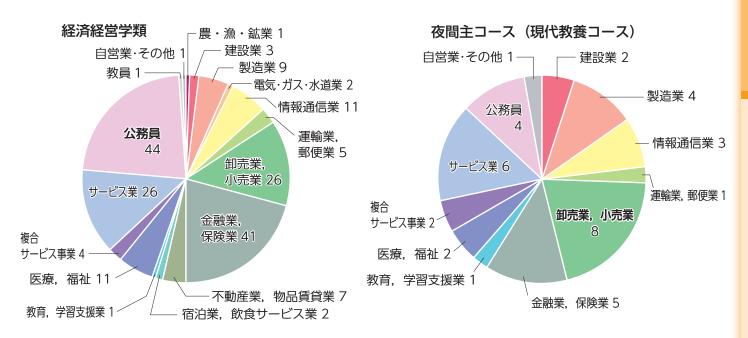
EMPLOYMENT AFTER GRADUATION

2015.5.1

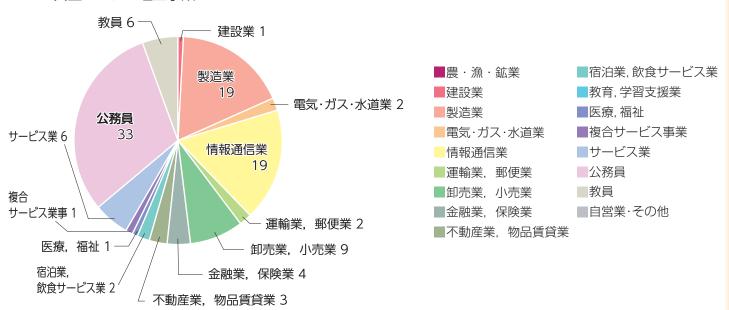
								20)15.5.1			
学類 Faculty 区分 Classification	人間発達 文化学類 Faculty of Human Development and Culture	≣† Sub Total	行政政策 学類 Faculty of Administration and Social Sciences	≣† Sub Total	経済経営 学類 Faculty of Economics and Business Administration	言† Sub Total	夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	≣† Sub Total	共生システム 理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	計 Sub Total	合 i Tota	≣† .l
卒 業 者 Total Graduates	90 181	271	130 104	234	148 76	224	38 26	64	135 34	169	541 421	962
就 職 者 Total Employed	63 150	213	102 95	197	128 <mark>67</mark>	195	22 17	39	86 22	108	401 351	752
農・漁・鉱業 Agriculture・Fishing・Mining Industries	0 1	1	0 1	1	1 0	1	0	0	0	0	1 2	3
建 設 業 Construction	2 6	8	3 1	4	2 1	3	2	2	1 0	1	10 8	18
製 造 業 Manufacturing	0 4	4	6 1	7	8 1	9	2 2	4	13 6	19	29 14	43
電 気·ガ ス·水 道 業 Public Services	0	0	1 0	1	0 2	2	0	0	1 1	2	2 3	5
情報通信業 Communication	4 7	11	3 7	10	8 3	11	3 0	3	16 3	19	34 20	54
運輸業,郵便業 Transportation, Postal Service	1 1	2	4 3	7	5 0	5	1 0	1	1 1	2	12 5	17
卸売業,小売業 Retail	6 3	9	8 10	18	16 10	26	5 3	8	7 2	9	42 28	70
金融業,保険業 Banking, Insurance	4 10	14	10 4	14	30 11	41	2 3	5	2 2	4	48 30	78
不動産業,物品賃貸業 Real Estate, Rental Services	1 3	4	1 2	3	6 1	7	0	0	2 1	3	10 7	17
宿泊業, 飲食サービス業 Accommodation, Food Services	0 2	2	0	0	1 1	2	0	0	2 0	2	3 3	6
教育, 学習支援業 Education, Learning Support	1 8	9	5 3	8	0 1	1	1 0	1	0	0	7 12	19
医療,福祉 Medical, Welfare	1 10	11	4 4	8	3 8	11	1 1	2	1 0	1	10 23	33
複合サービス事業 Service-sector Corporations	0 4	4	1 6	7	1 3	4	1 1	2	1 0	1	4 14	18
サービス業 Service Industry	3 7	10	6 9	15	16 10	26	1 5	6	3 3	6	29 34	63
公務員 Public Services	4 29	33	49 44	93	29 15	44	2 2	4	30 3	33	114 <mark>93</mark>	207
教 Teaching	35 55	90	1 0	1	1 0	1	0	0	6 0	6	43 55	98
自 営 業・そ の 他 Self-Employment・Others	1 0	1	0	0	1 0	1	1 0	1	0	0	3 0	3
未 定 Undetermined	2 5	7	1 1	2	4 3	7	3 2	5	5 0	5	15 11	26
進 学 者 等 Furthering Studies	15 19	34	6 2	8	8 2	10	2 0	2	37 7	44	68 30	98
公務員等希望者 Preparing for Civil Exams	8 4	12	17 5	22	3 2	5	5 0	5	3 1	4	36 12	48
有 職 者 Already Employed	0	0	0	0	0	0	4 4	8	0	0	4 4	8
そ の 他 Others	2 3	5	4 1	5	5 2	7	2	5	4 4	8	17 13	30
就 職 率 (%) Total Employment Rate	96.9% 96.8%	96.8%	99.0% 99.0%	99.0%	97.0% 95.7%	96.5%	88.0% 89.5%	88.6%	94.5% 100.0%	95.6%	96.4% 97.0%	96.7%
※ 上段(里)は男子 下段(去) けケマ											_

[※] 上段(黒)は男子、下段(赤)は女子。※ 就職率(%)=就職者÷就職希望者(就職者+未定)





共生システム理工学類



外国人留学生数

NUMBER OF INTERNATIONAL STUDENTS

留学生数部局別内訳 FACULTIES

2015.5.1

E 3 — 2/10/1-0/31 30 1							
区分 Classification		類 uate School	大 学 Graduate So	dž			
学類・大学院 Faculty・Graduate School	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	Total		
人間発達文化学類・人間発達文化研究科 Human Development and Culture Human Development and Culture	2	3	1	3	9		
一行政政策学類・地域政策科学研究科 Administration and Social Sciences Public Policy and Regional Administration	5	3	4	0	12		
経済経営学類・経済学研究科 Economics and Business Administration Economics	19	3	1	0	23		
共生システム理工学類・共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science Symbiotic Systems Science and Technology	15	0	(博士前期) 1 (1) (博士後期) 1	0	17(1)		
青 † Total	41	9	8 (1)	3	61(1)		

国別留学生数 NATIONALITIES

2015.5.1

区分 Classification		類 uate School	大 等 Graduat	学院 e School	計
国·地域 Nation·Region	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	Total
中華人民共和国 People's Republic of China	23	4	3	3	33
韓国 Republic of Korea	2	0	0	0	2
台湾 Taiwan	1	0	0	0	1
モンゴル Mongolia	0	1	4	0	5
ベトナム Socialist Republic of Vietnam	15	1	0	0	16
ロシア Russian Federation	0	1	0	0	1
ドイツ Federal Republic of Germany	0	2	0	0	2
フィジー Republic of FiJi	0	0	1(1)	0	1 (1)
計 Total	41	9	8 (1)	3	61(1)

SCHOLARSHIP STUDENTS

2015 5 1

						2015.5.1
区 分 Classification	対象学生数	日本学生支援機	機構奨学生 Japa	n Student Service	es Organization	その他の
学類·大学院 Faculty·Graduate School	Number of Eligible Applicants	第1種 Loan 1	第2種 Loan 2	計 Total	比率(%) Ratio	奨学生 Other Scholarship
人文社会学群 Cluster of Human and Social Science						
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	933	201	241	442	47.4	9
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	715	158	186	344	48.1	7
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	748	187	194	381	50.9	3
夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	207	58	42	100	48.3	1
理 工 学 群 Cluster of Science and Technology						
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	585	145	147	292	49.9	5
大 学 院 Graduate School	132	20	3	23	17.4	
合 計 Total	3,320	769	813	1,582	47.7	25

※基準日現在,1年生は未決定のため除く。

赤文字()は国費留学生で内数 留学生数は在留資格が「留学」の者を計上

附属学校の定員及び現員

OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS

2015.5.1

区分 Classification	入学(園)定員	総定員	現 員 Present Number					r		
学校別 School	Applicant Capacity	Student Capacity	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合 { Tota	<u> </u>
附属幼稚園 Kindergarten	30	90	3才児 9	3 year olds 5	4才児 12	4 year olds 6	5才児 (5 year olds 12	30 23	53
附属 小学 校 Elementary School	105	675	60 44	53 51	38 66	42 54	54 49	55 53	302 317	619
附属中学校 Junior High School	140	420	71 68	67 74	67 73				205 215	420
附属特別支援学校 Special Needs Education School	17	60	11 5	9	10 2	2	1 1	2	35 17	52
小 学 部 1-6	3	18	2	2	1 1	2	1 1	2	10	14
中 学 部 7-9	6	18	4 2	3	4				11 6	17
高 等 部 10-12	8	24	5 3	4 4	5 0				14 7	21
合 計 Total	292	1,245							572 572	1,144

- 附属特別支援学校小学部は、 $1 \cdot 2$ 年、 $3 \cdot 4$ 年、 $5 \cdot 6$ 年で各1学級 計3学級 黒文字は男子、赤文字は女子。



附属幼稚園 Kindergarten



附属小学校 Elementary School



附属中学校 Junior High School

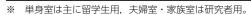


附属特別支援学校 Special Needs Education School

INTERNATIONAL HOUSE

2015.5.1

2013.		
名 称 Room	1 室当り面積 (㎡) Area	部屋数 Number of Rooms
単 身 室 Studio	12	38
夫 婦 室 One-Bedroom	35	5
家族室 Two-Bedroom	52	2
多目的ホール Multipurpose Hall	112	1
和 室 Japanese Room	24	1
ランドリー・ルーム Laundry Room	14	2
談話室 Lounge	14	2
事 務 室 Office	19	1





国際交流会館



多目的ホール Multipurpose Hall

DORMITORIES

2015.5.1

寮 名 Name	如月寮 Kisaragi Dormitory	信夫寮 Shinobu Dormitory	葵 寮 Aoi Dormitory
構 造・ 面 積 Structure・Area	R 5 F 3,466㎡	R 4 F 2,701㎡	R 4 F 2,654㎡
収容対象 Occupants	男子学生 Male	男子学生 Male	女子学生 Female
室 Bedrooms	200	150	150
収容可能人員 Capacity	200	150	150
現 員 Present Occupancy	196	147	148



学 生 寮 Dormitories

UNIVERSITY HALL

2015.5.1

	施 設 名 Facilities	面積 (㎡) Area	席・畳数 Capacity
1	大 食 堂 Large Cafeteria	1,046	832席
階 (1F)	売 店 Shop	294	
2 階 (2F)	レストラン Restaurant	186	80席
	ロ ビ ー Lobby	98	
	統 サ 室 Circle Room	22	

	施 設 名 Facilities	面積 (㎡) Area	席・畳数 Capacity
	大 集 会 室 Large Assembly Hall	270	250席
	小 集 会 室 Small Assembly Hall	35	32席
2	//	46	32席
と 階	//	32	32席
(2F)	和 室 Japanese Room	35	12畳
	学生総合相談室 Student Counseling Office	35	
	学生総合相談室分室 Student General Consultation Room Branch Office	18	
	厨 房・ そ の 他 Kitchen and Others	999	



大学会館 University Refectory



大食堂 Large Cafeteria

土地・建物面積

PROPERTIES

	2015.5.1			
部 局 等 Division	土地(㎡) Land	建物 (延㎡) Building	備 考 Location	
事務局・学類・附属図書館 Head Office・Faculties・Library	432,894	85,855	金谷川 Kanayagawa	
附属小学校 Elementary School	18,804	9,018	新浜町 Shinhama-cho	
附属中学校 Junior High School	34,808	6,177	浜田町 Hamada-cho	
附属特別支援学校 Special Needs Education School	12,032	4,307	八木田 Yagita	
附属幼稚園 Kindergarten	5,033	615	浜田町 Hamada-cho	
国際交流会館 International House	E 420	1,412	舟場町	
街なかブランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA	5,439	402	Funaba-cho	
山 の 家 Mountain Lodge	5,932	419	高 湯 Takayu	
如 春 荘 Joshunso	1,249	273	森 合 Moriai	
艇 庫 Boathouse	997	342	木 幡 Kohata	
桜 木 町 住 宅 Sakuragicho Accommodation	2,185	1,461	桜木町 Sakuragi-cho	
野 田 住 宅 Noda Accommodation	8,769	4,675	野田町 Noda-machi	
松 浪 住 宅 Matsunami Accommodation	1,753	1,338	松浪町 Matsunami-cho	
そ の 他 Others	1,708	0		
計 Total	531,603	116,294		

金谷川団地屋外体育施設の現況 OUTDOOR SPORTS ACILITIES			
名 称 Name	内 容 Area		
陸 上 競 技 場 Athletic Field	400mトラック (第4種公認) 全天候	1面	
バレーコート Volleyball Courts	(夜間照明)	5面	
テ ニ ス コ ー ト Tennis Courts	(一部全天候・夜間照明)	10面	
プ ー ル Swimming Pool	9コース 50m(公認)	1基	
ハンドボールコート Handball Field		1面	
野 球 場 Baseball Field	両翼90m,中堅100m (夜間照明)	1面	
サッカー・ラグビー場 Football Field	(夜間照明)	1面	
ゴ ル フ 練 習 場 Golf Field	9打席	1面	
馬 Riding Ground		1面	

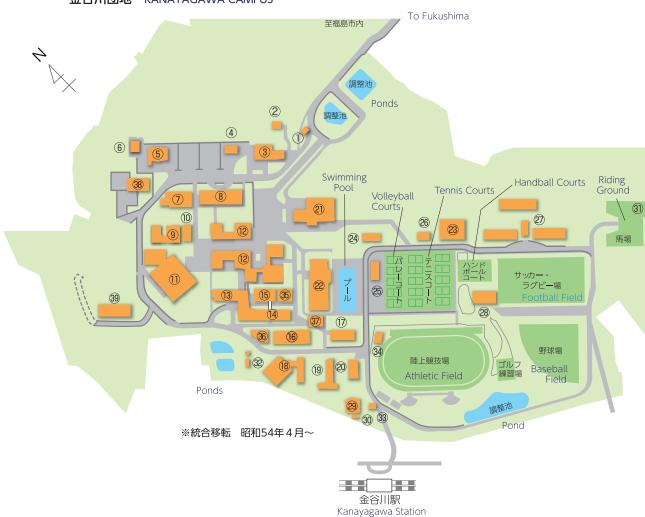
金谷川団地建物の現況 CAMPUS FACILITIES

金谷川団地建物の現況 CAMPUS I	FACILITIES	
名 称 Name	構 造 Structure	延面積(㎡) Space
人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture-Bldg.	SR7F	5,979
行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences-Bldg.	SR8F	5,690
経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration-Bldg.	SR8F	6,710
共生システム理工学類棟 Faculty of SymbioticSystems Science-Bldg.	SR7F	5,855
附属図書館 University Library	R3F · 4F	10,582
保健管理センター Healthcare Center	R2F	441
総合情報処理センター Information Network Center	R3F	2,204
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education	R4F	1,995
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization	R5F	2,530
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity	S2F	1,360
本部管理棟 Headquarters	R4F	2,440
学生活動センター Building for Student Council	S2F	229
講 義 棟(L棟) Lecture Halls	R1F	1,515
// (M棟)	R3F	2,843
// (S棟)	R4F	4,360
体 育 館 Gymnasium	RS1F · 2F	2,652
第2体育館 2nd Gymnasium	RS2F	1,126
保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.	R2F	924
音 楽 棟 Music Bldg.	R3F	1,190
美術棟 Fine Arts Bldg.	R2F	1,267
理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory	S7F	3,862
総合研究棟(理工系) SSS Research Laboratory	S7F	2,995
理工共通棟 SSS Technical Laboratory	R1F	404
共生システム理工学類後援募金記念棟 Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science	RC1F	334
ユニット棟 Temporary Administration Building	S2F	121
宇宙線観測室 Cosmic Rays Observatory	S1F	43
大学会館 University Refectory	R2F	3,184
文化系サークル棟 Building for Student Societies	R3F	885
体育系サークル棟 Varsity Building	R2F	710
更 衣 室 Locker Room	R1F	87
合宿研修施設 Training House	R1F	174
弓 道 場(5人立) Archery Field	S1F	120
既 舎 Stable	R1F	95
学生寮管理棟 Dormitory Administrative Offic	R1F	260
// 如月寮 Kisaragi Dormitory	R5F	3,466
// 信夫寮 Shinobu Dormitory	R4F	2,701
// 葵 寮 Aoi Dormitory	R4F	2,654
警務員室 Security Offic	R1F	34
西門警務員室 Security Offic	R1F	10
車 庫 Garage	R1F	219
中央機械室 Power Supply Center	R2F	883
受水槽ポンプ室 Pump Room	R1F	130
中水処理施設 Sewage Disposal Plant	RS1F	116
その他 Others		476
計 Total		85,855
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

建物配置図

CAMPUS MAP

金谷川団地 KANAYAGAWA CAMPUS



- ① 警務員室 Security Office
- ② 保健管理センター Healthcare Center
- ③ 本部管理棟 Headquarters
- 庫 Garage ④ 重
- ⑤ 中央機械室 Power Supply Center
- ⑥ 受水槽ポンプ室 Pump Room
- 行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences
- ⑧ 経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration
- ⑨ 総合情報処理センター Information Network Center
- ⑩ 学生活動センター Building for Student Council
- ⑪ 附属図書館 Library
- ⑫ 講 義 棟 Lecture Halls
- ⑬ 人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture
- ⑭ 共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science
- 理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory (15)
 - 総合教育研究センター Center for Research and

Development of Education

- ① 保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.
- ⑱ 美 術 棟 Fine Arts Bldg.
- ⑲ 音 楽 棟 Music Bldg.
- ② 理工共通棟 SSS Technical Laboratory
- ② 大学会館 University Refectory

- ② 体育館 Gymnasium
- ② 第2体育館 2nd Gymnasium
- 文化系サークル棟 Building for Student Societies
- 体育系サークル棟 Varsity Building
- 合宿研修施設 Training House
- 学 生 寮 Dormitories (27)
- (28) 弓 道 場 Archery Field
- 中水処理施設 Sewage Disposal Plant (29)
- 宇宙線観測室 Cosmic Rays Observatory
- 舎 Stable ③1) 厩
- 温室·網室 Greenhouse and Cage
- 西門警務員室 Security Office (33)
- 9 更衣室 Locker Room
- ③ 総合研究棟(理工系) SSS Research Laboratory
- 共生システム理工学類後援募金記念棟 Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science
- ③ ユニット棟
 - Temporary Administration Building
- うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization
- 環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity

福島大学 Fukushima University



附属学校 OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS 附属小学校 Elementary School



① 小学校校舎(南校舎)

School Building (south school building)

(北校舎)

(north school building)

③ 小学校体育館 Gymnasium

附属中学校・附属幼稚園 Junior High School, Kindergarten



附属特別支援学校 Special Needs Education School



- ① 中学校校舎
- Junior High School Building
- ② // 体育館
- Gymnasium
- ③ 幼稚園園舎 Kindergarten
- ④ // 幼児教育センター
- Early Childhood Education Center

- ① 特別支援学校校舎(小学部)
- School Building (1-6) 2
- (中学部)
 - (7-9)
- (高等部) 3
- (10-12)
- 4 // 体育館
- Gymnasium
- // 木工室
- Woodworking Room
- ⑥ // 日常生活訓練施設
 - Training Facility

部局等の所在地案内図

LOCATION OF OFFICES

交通機関案内 TRANSPORTATION

① 福島大学 Fukushima University JR東北本線「金谷川駅」下車徒歩10分

Take the Tohoku-Line from Fukushima Station to Kanayagawa Station, which takes about 10 minutes. Then about 10 minutes on foot.

② 附属小学校 Elementary School

福島交通福島駅東口バス発着所から市内循環1 コース約10分, 「附属小前」下車

Take the "Round 1" course bus at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fuzokusho". (It takes 10 minutes)

③ 附属中学校 Junior High School 附属幼稚園 Kindergarten

福島交通福島駅東口バス発着所から伊達・藤田・ 保原方面行乗車,約8分,「東高校前」下車徒歩

Take the bus for "Date · Fujita · Hobara" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Higashiko". It takes about 8 minutes, then 5

④ 附属特別支援学校

Special Needs Education School

福島交通福島駅東口バス発着所から荒井・土湯 方面行乗車約15分, 「福島ふそう前」下車徒歩5 分

Take the bus for "Arai Tsuchiyu" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fukushima-Fuso" It takes 15 minutes, then 5 minutes on foot.

⑤ 国際交流会館

International House

福島大学サテライト「街なかブランチ舟場」

Fukushima University Satellite [Machinaka Branch FUNABA]





部局等の所在地及び電話番号

CONTACT ADDRESSES

2015.5.1

	部 局 等 Division		電話番号 Telephone	所	在 地 Address
	人間発達文化学 Faculty of Human Development and Cul	類 024-548-8103			/ daroos
人文社会学群	行 政 政 策 学 Faculty of Administration and Social Scien	類 024 E48 92E3		〒960−1296	
学群	経済経営学 Faculty of Economics and Business Administra	類 024-548-8353		福島市金谷川1	番地
理工学群	共生システム理工学 Faculty of Symbiotic Systems Scier	類 024-548-5213			
附	属 図 書ersity Library	館 024-548-8083	S	〒960-1293 福島市金谷川1	番地
保 Healt	健 管 理 セ ン タ thcare Center	024-548-8068	}		
	域 創 造 支 援 セ ン タ er for Regional Affairs	024-548-8012			
	合情報処理センタ mation Network Center	024-548-8018			
総 Cente	合 教 育 研 究 セ ン タ rr for Research and Development of Educa	024-548-8110			
	くしまふくしま未来支援センタ hima Future Center For Regional Revitaliza				
国 Intern	際 交 流 セ ン タ ational Center	024-503-3067		-04-	
	境 放射 能 研 究 ute of Environmental Radioactivity	024-504-2114		〒960-1296 福島市金谷川1	番地
事 Admi	務 inistration Bureau	局 役評監 窓室室室 課	024 - 548 - 5224 024 - 548 - 8382 024 - 548 - 5193 024 - 548 - 8006		
		人 財施 設課 課課 課	024-548-8007 024-548-8016 024-548-8021		
		教務課学生課	024-548-8053 024-548-8061		
		就職支援室 入 試 課 研究振興課 地域連携課	024-548-8108 024-548-8064 024-548-8009 024-548-8012		
如	月 Pagi Daywitan	学術情報課	024-548-8083		
信	agi Dormitory 夫	寮		〒960-1248 福島市金谷川5	포·놰
葵	obu Dormitory	寮			田地
AUL	Oormitory		※平	成12年地名変更	金谷川←松川町浅川字直道
附 Kinde	属 幼 稚 ergarten	024-534-7962		〒960-8107 福島市浜田町1	
附 Elem	属 小 学 entary School	校 024-534-6441		〒960-8022 福島市新浜町4	番6号
附 Junio	属 中 学 or High School	校 024-534-6442		〒960-8107 福島市浜田町1	2番26号
附 Spec	属 特 別 支 援 学 ial Needs Education School	校 024-546-0535		〒960-8164 福島市八木田字	·並柳71番地
国 Interr	際 交 流 会 national House	館 024-521-2428	-	T 960-8103	
	な か ブ ラ ン チ 舟 ninaka Branch FUNABA	場		福島市舟場町4	番30号
如 Joshu	春 unso			〒960-8003 福島市森合字台	13番地9号
艇 Boath	nouse	庫		〒964-0203 二本松市木幡字	西和代191番地9号
桜 Saku	木 町 住 ragicho Accommodation	宅		〒960-8133 福島市桜木町8	番1号
野 Noda	田 住 A Accommodation	宅		〒960-8055 福島市野田町五	丁目7番
松 Matsi	浪 住 unami Accommodation	宅		〒960-8114 福島市松浪町1	